

札幌医科大学要覧

平成20年度

北海道公立大学法人
札幌医科大学



シンボルマークについて

**本学の開学30周年（創基35周年）を契機に卒業生
や学生等から広く公募し、昭和56年に制定された。**

だ円（枠組み）・・・ 宇宙の調和を示す。

1945・・・・・・ 本学の創基として、北海道立女子医学専門学校が開校した昭和20年（1945年）を意味する。

七光星・・・・・・ 道章及び道旗の原形であり、北海道を象徴する。

羽・・・・・・ 本学の一層の発展と飛躍を示す。

柏の葉・・・・・・ 英知と質実を示すものとして本学の学生バッジの図案の背景にも採用されている。

ヘビと杖・・・・・・ 医学のシンボルであるアスクレピオスの杖を示しており、ヘビの形は札幌医科大学の頭文字Sを示し、杖の下の方が太くなっているのは、大地にがっしりと根をはり不動のたくましさの意味している。

札幌医科大学要覧目次

1 概要	1
(1) 沿革	1
(2) 歴代理事長等	2
(3) 組織機構図	3
(4) 役職員	4
(5) 名誉教授	7
(6) 名誉博士	7
(7) 正職員数	8
ア 総括表	8
イ 教養教育科目職員数	9
ウ 専門教育科目職員数	9
エ 基礎医学部門職員数	9
オ 臨床医学部門職員数	9
カ 保健医療学部職員数	10
キ 附属病院及び事務局職員数	10
(8) 主な研究題目	11
ア 医学部	11
イ 保健医療学部	17
ウ 医療人育成センター	18
エ 寄附講座	19
オ 特設講座	19
(9) 文部科学省G Pの採択・実施状況	20
(10) 国際交流	21
ア 北方医学交流	21
イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	21
ウ 国際医学交流センター	21
エ 教員在外研究等	21
(11) 標本館	22
ア 歴代館長	22
イ 概況	22
ウ 利用状況	22
2 学事事項	23
(1) 学生に関する事項	23
ア 年度別志願者及び入学者数	23
イ 定員及び現員数	24
ウ 出身地別現員数	24
(2) 年次別卒業生数	25
ア 医学部	25
イ 保健医療学部	25
(3) 国家試験合格状況	26
ア 医師	26
イ 看護師	26
ウ 保健師	26
エ 理学療法士	26
オ 作業療法士	26
(4) 研究生数	27
(5) 博士（医学）の学位授与者数	28
(6) 修士及び博士の学位授与者数	28
3 附属病院	29
(1) 沿革	29
(2) 歴代病院長	29
(3) 患者概況	30
ア 年間延患者数	30
イ 1日平均患者数	30
(4) 中央部門稼働実績概況	31
ア 放射線部使用状況	31
イ 検査部・機器診断部・病理部・医療材料部検査件数	31
ウ 薬剤部調剤件数	32
エ 手術部手術件数	34
(5) 分娩件数	34
(6) 定床別等級別病床数	35
(7) 病理解剖件数	36
(8) 医療相談状況（平成19年度）	37
ア 各科別件数	37
イ 相談内容別件数	37
(9) 病院経営概況	38
ア 病院診療収入稼働額	38
イ 医療行為別診療収入稼働額	38
4 医学部附属がん研究所	39
(1) 沿革	39
(2) 歴代研究所長	39
(3) 組織	39

(4) 研究計画の概要	40
ア 生化学部門	40
イ 分子生物学部門	40
ウ 分子病理病態学部門	40
5 医学部附属臨海医学研究所	40
(1) 沿革	40
(2) 歴代研究所長	40
(3) 組織	41
(4) 研究計画の概要	41
6 教育研究機器センター	41
(1) 沿革	41
(2) 歴代施設部長及びセンター所長	42
(3) 組織	42
(4) 研究計画の概要	42
ア 分子医学研究部門	42
イ 分子機能解析部門	42
7 動物実験施設部	43
(1) 沿革	43
(2) 歴代施設部長	43
(3) 組織	43
(4) 関連委員会・指針	43
(5) 事業の概要（平成19年度）	43
ア 公開セミナー	43
イ 施設利用者数	43
ウ 実験動物購入数及び飼育数	44
エ 実験動物検疫検査実績数	44
8 附属総合情報センター	44
(1) 沿革	44
(2) センター所長	44
(3) 組織	44
(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況	45
(情報システム部門)	
ア 教育支援システム	45
イ 研究支援システム	45
ウ 地域医療支援システム	45
エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)	45
(図書館部門)	
ア 組織・施設概要	45
イ 蔵書	45
ウ 入館者数内訳（平成19年度）	46
エ 利用概要（平成19年度）	46
オ 特徴的な業務	46
9 附属産学・地域連携センター	46
(1) 沿革	46
(2) 歴代センター所長	46
(3) 組織	46
(4) 業務概要	46
ア 研究支援	46
イ 教育支援	47
ウ 知的財産の管理活用	47
(5) 文部科学省科学研究費補助金	47
(6) 受託研究受入れ状況	48
(7) 特許出願等の状況	48
10 緩和医療学講座	48
(1) 沿革	48
(2) 所属長	48
(3) 組織	48
(4) 研究計画の概要	48
11 分子標的探索講座	49
(1) 沿革	49
(2) 所属長	49
(3) 組織	49
(4) 研究計画の概要	49
12 神経再生医学講座	50
(1) 沿革	50
(2) 所属長	50
(3) 組織	50
(4) 研究計画の概要	50
13 平成20年度歳入歳出予算	51
14 校舎等建物面積	52

1 概 要

(1) 沿 革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部(昭和58年4月開学)の発展的な改組に伴い、保健医療学部を増設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。

札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年	2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年	3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年	4月1日	開学
昭和25年	6月25日	開学式を挙行(大学記念日とする)
昭和25年	8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年	4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年	3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年	4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年	4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年	9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年	3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年	4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年	6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年	9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年	1月10日	医学進学課程設置
昭和33年	4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年	6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年	8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年	4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年	12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年	4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年	12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年	4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年	7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年	4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年	4月1日	口腔外科学第二講座廃止
昭和43年	4月1日	生化学第二講座増設
昭和43年	9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年	12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年	4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年	2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年	3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年	11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年	1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年	3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年	6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙行
昭和52年	8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年	8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年	9月30日	体育館竣工
昭和54年	1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年	4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年	4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年	2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年	4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年	5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年	6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年	6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年	3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工

平成 3 年	3 月 2 8 日	国際医学交流センター改修
平成 5 年	4 月 1 日	保健医療学部（入学定員 9 0 名）開設 （看護学科、理学療法学科、作業療法学科）
平成 7 年	3 月 3 1 日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成 8 年	4 月 1 日	特定機能病院として承認
平成 1 0 年	4 月 1 日	大学院保健医療学研究科（入学定員 2 4 名）開設 （看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻）
平成 1 0 年	4 月 1 日	地域医療総合医学講座増設
平成 1 1 年	3 月 2 8 日	基礎医学研究棟竣工
平成 1 1 年	4 月 1 日	附属情報センター設置
平成 1 1 年	4 月 1 日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成 1 1 年	6 月 1 1 日	新図書館開設
平成 1 2 年	4 月 1 日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期（入学定員 6 名）開設
平成 1 2 年	4 月 1 日	学務部を廃止し、学生部を設置
平成 1 2 年	4 月 1 日	学部に副学部長制（2 名）施行
平成 1 2 年	4 月 1 日	臨床検査医学講座増設
平成 1 2 年	6 月 2 5 日	開学 5 0 周年（創基 5 5 周年）記念式典挙行
平成 1 2 年	1 0 月 2 6 日	交流会館開設
平成 1 3 年	4 月 1 日	大学院医学研究科を再編整備（地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の 3 専攻へ）
平成 1 3 年	4 月 1 6 日	地域医療支援センター設置
平成 1 4 年	4 月 1 日	患者の家族等のための宿泊施設（ファミリーハウス）開設
		附属病院に救命救急センターを設置
平成 1 4 年	1 0 月 1 日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成 1 4 年	1 2 月 1 日	札幌医科大学記念ホール開設
平成 1 6 年	4 月 1 日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 学校教育法第 69 条に基づく認証評価を受ける
平成 1 6 年	9 月 1 7 日	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成 1 8 年	4 月 1 日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置
		大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期（入学定員 2 名）開設
平成 1 9 年	4 月 1 日	地方独立行政法人化「北海道公立大学法人 札幌医科大学」
平成 1 9 年	1 0 月 1 日	機器診断学廃止
平成 2 0 年	4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を 1 0 5 人に増員
		大学院医学研究科修士課程（入学定員 1 0 名）を開設（医科学専攻）
平成 2 0 年	4 月 1 日	医学部の副学部長を 1 名増員（3 名体制）
		生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、 生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更
		神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成 2 0 年	1 0 月 1 日	医療人育成センター（3 0 名体制）設置 （入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門）

(2) 歴代理事長等

◎ 理事長

平成 1 9 年 4 月 1 日 — 現 在 今 井 浩 三

◎ 学 長

昭和 2 5 年	4 月 1 日	—	昭和 3 6 年	3 月 3 1 日	大 野 精 七
昭和 3 6 年	4 月 1 日	—	昭和 4 0 年	3 月 3 1 日	中 川 論
昭和 4 0 年	4 月 1 日	—	昭和 4 5 年	2 月 1 日	新 保 幸太郎
昭和 4 5 年	2 月 1 日	—	昭和 4 7 年	2 月 8 日	（学長職務代理） 渡 邊 左武郎
昭和 4 7 年	2 月 9 日	—	昭和 5 5 年	2 月 8 日	渡 邊 左武郎
昭和 5 5 年	2 月 9 日	—	昭和 6 1 年	2 月 8 日	和 田 武 雄
昭和 6 1 年	2 月 9 日	—	平成 4 年	2 月 8 日	菊 地 浩 吉
平成 4 年	2 月 9 日	—	平成 1 0 年	2 月 8 日	谷 内 昭
平成 1 0 年	2 月 9 日	—	平成 1 6 年	2 月 8 日	秋 野 豊 明
平成 1 6 年	2 月 9 日	—	現 在		今 井 浩 三

(4) 役職員

(平成20年10月1日現在)

□ 法人

◎ 役員会

理事長	今井浩三
副理事長(管理・運営担当)	太田博
理事(教育担当)	丸山知子
〃(学術研究担当)	當瀬規嗣
〃(医療担当)	塚本泰司
〃(経営担当)	白崎賢治
監事	旗本道男
〃	渡辺英一

◎ 経営審議会

議長	今井浩三
委員	太田博
〃	塚本泰司
〃	白崎賢治
〃	丸山知子
〃	太田三夫
〃	大和田勲
〃	川崎毅一郎
〃	山口博司
〃	山本直也

◎ 教育研究評議会

議長	今井浩三
委員	當瀬規嗣
〃	丸山知子
〃	塚本泰司
〃	今井道夫
〃	齋藤利和
〃	佐藤昇志
〃	三高俊広
〃	黒木由夫
〃	澤田典均
〃	山下敏彦
〃	氷見徹夫
〃	乾公美
〃	稲葉佳江
〃	澤田雄二
〃	傳野隆一
〃	河合裕秋
〃	佐々木眞

◎ 監査室

室長(兼)	教授	堀尾嘉幸
-------	----	------

□ 大学

学長(兼)	今井浩三
-------	------

◎ 事務局

事務局長	河合裕秋
企画管理部長兼学務事務部長	真鍋雅信
病院事務部長	笠原清孝
総務課長	内田吉一
総務課参事	相馬博明
経営企画課長兼経営企画課財務室長	中村進
学務課長	中井誠
学務課入試室長	嶋田哲朗
病院課長	伊藤徹彦
医事センター長	米安一二三
患者サービスセンター長(兼)	笠原清孝
業務課長	小酒井浩

◎ 医学部

学部長(兼)	教授	當瀬規嗣
副学部長(〃)	〃	黒木由夫
〃(〃)	〃	堀尾嘉幸

学科目

専門教育科目

産科周産期科学(兼)	教授	齋藤豪
形成外科学	〃	四ツ柳高敏
医療薬学	〃	宮本篤
病理診断学	〃	長谷川匡
リハビリテーション医学	〃	石合純夫

講座

基礎医学部門(13講座)

解剖学第一講座	教授	辰巳治之
解剖学第二講座	〃	藤宮峯子
細胞生理学講座(兼)	〃	當瀬規嗣
神経科学講座	〃	長峯隆
医化学講座	〃	黒木由夫
生化学講座	〃	豊田実
病理学第一講座	〃	佐藤昇志

病理学第二講座	教授	澤田典均
微生物学講座	〃	藤井暢弘
薬理学講座	〃	堀尾嘉幸
衛生学講座	〃	小林宣道
公衆衛生学講座	〃	森満
法医学講座	〃	松本博志

臨床医学部門（22講座）

内科学第一講座	教授	篠村恭久
内科学第二講座	〃	島本和明
内科学第三講座	〃	高橋弘毅
内科学第四講座	〃	加藤淳二
神経内科学講座	〃	下濱俊
外科学第一講座	〃	平田公一
外科学第二講座	〃	樋上哲哉
整形外科学講座	〃	山下敏彦
脳神経外科学講座	〃	寶金清博
産婦人科学講座	〃	齋藤豪
小児科学講座	〃	堤裕幸
眼科学講座	〃	大黒浩
皮膚科学講座	〃	山下利春
泌尿器科学講座(兼)	〃	塚本泰司
耳鼻咽喉科学講座	〃	氷見徹夫
神経精神医学講座	〃	齋藤利和
放射線医学講座	〃	晴山雅人
麻酔学講座	〃	並木昭義
地域医療総合医学講座	〃	山本和利
臨床検査医学講座	〃	渡邊直樹
救急・集中治療医学講座	〃	浅井康文
口腔外科学講座	〃	平塚博義

○ 医学部附属がん研究所

所長(事務取扱)	教授	當瀬規嗣
生化学部門(兼)	〃	時野隆至
分子生物学部門	〃	時野隆至
分子病理病態学部門	〃	三高俊広

○ 医学部附属臨海医学研究所

所長(兼)	教授	當瀬規嗣
副所長	准教授	高橋延昭

○ 医学部教育研究機器センター

所長(兼)	教授	山下敏彦
分子医学研究部門 部門長	〃	濱田洋文

分子機能解析部門 部門長	教授	小海康夫
ラジオアイソトープ研究部門 部門長(兼)	〃	小林宣道

○ 医学部動物実験施設部

部長(兼)	教授	澤田典均
副部長	准教授	磯貝浩

◎ 保健医療学部

学部長(兼)	教授	丸山知子
副学部長(〃)	〃	乾公美

看護学科

学科長(兼)	教授	稲葉佳江
基礎・臨床医学講座	〃	笠井潔
看護学第一講座	〃	稲葉佳江
〃	〃	片岡秋子
看護学第二講座(兼)	〃	丸山知子
看護学第二講座	〃	蝦名美智子
〃	〃	猪股千代子
看護学第三講座	〃	波川京子
〃	〃	奥宮暁子
〃	〃	吉野淳一

理学療法学科

学科長(兼)	教授	乾公美
基礎理学療法学講座	〃	武田秀勝
〃	〃	内山英一
臨床理学療法学講座	〃	乾公美
〃	〃	小塚直樹
〃	〃	片寄正樹

作業療法学科

学科長(兼)	教授	澤田雄二
基礎作業療法学講座	〃	澤田雄二
〃	〃	坪田貞子
臨床作業療法学講座	〃	仙石泰仁
〃	〃	池田望
〃	〃	松山清治

◎ 医療人育成センター

センター長(兼)	教授	今井道夫
副センター長(〃)	〃	傳野隆一

入学者選抜企画研究部門

部門長(兼)	教授	傳野隆一
--------	----	------

入学者選抜企画
研究部門

教授 傳 野 隆 一

教養教育研究部門

部門長(兼) 教授 賀 佐 伸 省

学科目

教養教育科目

哲学・倫理学	教授	今 井 道 夫
心 理 学	〃	澤 田 幸 展
法学・社会学	准教授	旗 手 俊 彦
〃	〃	道 信 良 子
英 語	教授	森 岡 伸 慎
〃	〃	根 本 慎 一
運動科学	准教授	岡 野 五 郎
物 理 学	教授	高 田 純 男
〃	〃	松 嶋 範 男
化 学	〃	賀 佐 伸 省
〃	〃	藤 井 博 匡
生 物 学	〃	吉 田 幸 一
数学・情報科学	准教授	大 柳 俊 夫

教育開発研究部門

部門長(兼) 教授 相 馬 仁 仁
教育開発研究部門 〃 相 馬 仁 仁

◎ 附 属 病 院

病 院 長(兼)	教授	塚 本 泰 司
副 院 長(〃)	教授	氷 見 徹 夫
〃 (〃)	〃	寶 金 清 博
〃 (〃)	看護部長	鈴 木 康 世

診療科(23科938床)

第一内科長(兼)	教授	篠 村 恭 久
第二内科長(〃)	〃	島 本 和 明
第三内科長(〃)	〃	高 橋 弘 毅
第四内科長(〃)	〃	加 藤 淳 二
神経内科長(〃)	〃	下 濱 俊 一
第一外科長(〃)	〃	平 田 公 一
第二外科長(〃)	〃	樋 上 哲 哉
整形外科長(〃)	〃	山 下 敏 彦
脳神経外科長(〃)	〃	寶 金 清 博
婦 人 科 長(〃)	〃	齋 藤 豪 豪
産科周産期科長(〃)	〃	齋 藤 豪 豪
小 児 科 長(〃)	〃	堤 裕 幸
眼 科 長(〃)	〃	大 黒 浩 春
皮 膚 科 長(〃)	〃	山 下 利 敏
形成外科長(〃)	〃	四 ッ 柳 高 敏

泌尿器科長(兼)	教授	塚 本 泰 司
耳鼻咽喉科長(〃)	〃	氷 見 徹 夫
神経精神科長(〃)	〃	齋 藤 利 和
放射線科長(〃)	〃	晴 山 雅 人
麻 酔 科 長(〃)	〃	並 木 昭 義
総合診療科長(〃)	〃	山 本 和 利
歯科口腔外科長(〃)	〃	平 塚 博 義
リハビリテーション科長(〃)	〃	石 合 純 夫

薬 剤 部

部長(兼) 教授 宮 本 篤

検 査 部

部長(兼) 教授 渡 邊 直 樹

病 理 部

部長(兼) 教授 長 谷 川 匡

放 射 線 部

部長(兼) 教授 晴 山 雅 人

手 術 部

部長(兼) 教授 平 田 公 一

医療材料部

部長(兼) 教授 樋 上 哲 哉

リハビリテーション部

部長(兼) 教授 石 合 純 夫

救急集中治療部

部長(兼) 教授 浅 井 康 文

感染制御部

部長(兼) 教授 渡 邊 直 樹

看 護 部

部長 鈴 木 康 世

中央写真室

室 長(兼) 教授 長 谷 川 匡

臨床工学室

室 長(兼) 教授 寶 金 清 博

医療安全推進室

室 長(兼) 教授 寶 金 清 博

診療情報室

室 長(兼) 教授 氷 見 徹 夫

◎ 学 生 部

部長(事務取扱)	教授	丸 山 知 子
(兼)	〃	森 野 満 一
(〃)	〃	吉 野 淳 一

◎ 国 際 交 流 部

部長(兼)	教授	齋 藤 利 和
(〃)	〃	齋 藤 豪 美
(〃)	〃	乾 公 美

◎ 附属総合情報センター

所 長(兼)	教授	佐藤昇志
副 所 長(〃)	講師	明石浩史
副 所 長		原田敏

◎ 附属産学・地域連携センター

所 長(兼)	教授	三高俊広
副 所 長(〃)	准教授	石埜正穂
参 事(〃)		真鍋雅信
副 所 長		関戸博行

(寄 附 講 座)

緩和医療学講座(兼)	教授	並木昭義
分子標的探索講座	特任教授	新津洋司郎

(特 設 講 座)

神経再生医学講座	特任教授	本望修
----------	------	-----

(5) 名 誉 教 授 (授与順)

(平成20年10月1日現在)

名 誉 教 授	和田寿郎
〃	林喬義
〃	福嶋豁行
〃	高橋長雄
〃	塚田英之
〃	寺山良雄
〃	三木毅
〃	漆崎一朗
〃	早坂滉
〃	橋本正淑
〃	三成脩
〃	高橋杏三
〃	熊本悦明
〃	黒川一郎
〃	福田守道
〃	飯村攻基
〃	小片蕙
〃	藤永潤子
〃	近藤英世
〃	藪地浩吉
〃 (元学長)	高畑直彦
〃	森田和夫
〃	金子正光
〃	大鹿英世
〃	形浦昭克

名 誉 教 授

〃	三宅浩次
〃	小松俊郎
〃	筒井完
〃	森道夫
〃	中川喬
〃	岩城禮三
〃	浅見行一
〃	千葉峻三
〃	浦澤价子
〃	浦澤正三
〃	端和夫
〃	石井清一
〃	板谷幸一
〃	望月洋一
〃	石澤光郎
〃	小浜源郁
〃	秋山盛雄
〃 (元学長)	秋野豊明
〃	工藤隆一
〃	阿部庄作
〃	鬼原彰
〃	山崎英雄
〃	安倍十三夫
〃	David James Magee
〃	青木藩
〃	名取博
〃	松本博之
〃	神保孝一
〃	宮本重範
〃	加納英雄
〃	乗安整而
〃	佐々木輝捷
〃	新津洋司郎

(6) 名 誉 博 士

(平成20年10月1日現在)

名 誉 博 士	Pierre CHAMBON
---------	----------------

ア 総 括 表

(单位:人)

※役員で職員を兼務する者（理事長、医学部教授、保健医療学部教授）４名を含む。
※職員数は、再雇用職員を含む。

イ 医学部専門教育科目職員数 (単位：人)

所 属 職 種				学 科 目 (専 門 教 育 科 目)				
				産科周産期科学	形成外科科学	医療薬学	病理診断学	リハビリテーション医学
教 育 職	教 准 教	授 授 師 教 手		1	1	1	1	4
	教 准 講 助 助			1	1	1	1	2
	教 准 講 助 助			2	1	2	1	2
	合 計			3	3	1	4	14

ウ 医学部基礎医学部門職員数 (単位：人)

所 属 講 座 職 種				講 座 (基 礎 医 学 部 門)												
				解剖学第一	解剖学第二	細胞生理学	神経科学	医 生 学	病理学第一	病理学第二	微生物学	薬 理 学	衛 生 学	公衆衛生学	法 医 学	計
教 育 職	教 准 教	授 授 師 教 手		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	教 准 講 助 助			1	1		1	1	1	2	1	1	1	1	1	13
	教 准 講 助 助			1	1	3	1	2	3	1	1	2	1	2	2	10
	合 計			5	3	4	3	5	5	5	5	4	5	5	5	59
一 般 職	研 究 補 助 員					1					1			1	1	4
	技 能 員			1	1											2
	合 計			1	1	1					1			1	1	6
合 計				6	4	5	3	5	5	5	6	4	5	6	6	65

エ 医学部臨床医学部門職員数 (単位：人)

所 属 講 座 職 種				講 座 (臨 床 医 学 部 門)															
				内科学第一	内科学第二	内科学第三	内科学第四	神経内科学	外科学第一	外科学第二	整形外科	脳神経外科学	産婦人科学	小児科学	眼 科 学	皮膚科学	泌尿器科学	耳鼻咽喉科学	神経精神医学
教 育 職	教 准 教	授 授 師 教 手		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	教 准 講 助 助			2	2	1		1	1	1	2	2	1	1	2	1	1	1	1
	教 准 講 助 助			4	4	2	4	1	2	2	3		3	4	1	1	2	2	3
	合 計			12	13	10	10	4	12	9	10	8	8	10	9	9	9	9	11
一 般 職	研 究 補 助 員			1								1					1		
	技 能 員																1		
	合 計			1								1					2		1
合 計				13	13	10	10	4	12	9	10	9	8	10	9	9	11	9	12

オ 保健医療学部職員数 (単位：人)

所 属 職 種				看護学科				理学療法学科		作業療法学科		計
				基礎臨床医学	看護学第一	看護学第二	看護学第三	基礎理学療法学	臨床理学療法学	基礎作業療法学	臨床作業療法学	
教 育 職	教 准 教	授 授 師 教 手		1	2	3	3	2	3	2	3	19
	教 准 講 助 助			2	3	2	2	3	1	4		17
	教 准 講 助 助				1	1	2	1			2	7
	教 准 講 助 助				1	1	1	2	1	1	1	7
合 計				3	8	8	10	7	7	7	7	57

カ 医療人育成センター職員数

(単位：人)

所 属 職 種		入学者選抜企画研究部門	教養教育研究部門									教育開発研究部門	計
			学科目（教養教育科目）										
			哲学・倫理学	心理学	法学・社会学	英語	運動科学	物理学	化学	生物学	数学・情報科学		
教 育 職	教 准 教 授 授 師 教 手	1	1	1 2 1	2 2	2 1 1	1	2 1 1	2 1 1	1 1 2	1 2	1 1 1	11 9 7 2
	研 究 補 助 員	1	1	4	2	4	1	3	4	4	3	2	29
一 般 職	計		1	1				1					3
合 計		1	2	5	2	4	1	4	4	4	3	2	32

キ 附属病院職員数

(単位：人)

所 属 職 種		附 属 病 院													計
		薬 剤 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リハビリテーション部	救急集中治療部	感 染 制 御 部	看 護 部	中 央 写 真 室	臨 床 工 学 室	医 療 安 全 推 進 室	
一 般 職	一 般 事 務 職 員 技 術 技 能 員 電 気 技 能 員 薬 剤 補 助 員 看 護 助 手										2	4	1		2 4 1 5 6 6
一 般 職	計	6	1	2	2						6	8	4	1	24
医 療 職	臨 床 検 査 技 師 薬 剤 技 師 診 療 放 射 線 技 師 理 学 療 法 士 作 業 療 法 士 言 語 聴 覚 士 理 療 訓 練 士 臨 床 工 学 技 士 歯 科 技 術 士 歯 科 工 学 士 視 能 訓 練 士	29	43	5	42			5 3 1 3					7		48 29 42 5 3 2 3 7 4 3 2
医 療 職	計	29	43	5	42			12					7		148
看 護 職	看 護 師 助 産 師 准 看 護 師 計									2	644 32 9		2	2	650 32 9
看 護 職	計									2	685		2	2	691
合 計	計	35	44	7	44			12		2	693	4	8	2	863

ク 事務局職員数

(単位：人)

所 属 職 種		事 務 局								計
		局 長・部 長	総 務 課	企 画 課	学 務 課	病 院 課	医 事 セ ン タ ー	患 者 サ ー ビ ス セ ン タ ー	業 務 課	
一 般 職	局 長・部 長 課 長 等 一 般 事 務 職 員 技 術 技 能 員 守 護 技 術 員 運 転 技 術 員 研 究 補 助 員 調 理 員 電 話 交 換 手 ボ イ ラ ー 技 師 看 護 助 手	3	4 34 11	3 18	4 17 1	4 27 1	2 11	1 8	2 7	3 20 122 12 4 1 1 6 2 6 1
一 般 職	計	3	58	21	23	41	13	9	10	178
医 療 職	栄 養 士 計					5 5				5 5
合 計	計	3	58	21	23	46	13	9	10	183

(8) 主な研究題目

ア 医学部

専 門 教 育 科 目	産科周産期科学	1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 多嚢胞性卵巣症候群の病態の解明 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学的研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	形成外科学	1 組織移植による集学的治療についての臨床研究 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究 4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 6 顔面組織再建法の開発 7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究
	医療薬学	1 医薬品による致命的循環器系副作用(Q T延長症候群)に関する研究 2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究
	病理診断学	1 腫瘍の形態形成及び悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度及び予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	リハビリテーション医学	1 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーション 2 動作、行為、行動に関わる神経機構解明 3 パーソナルコンピュータを用いた認知機能評価システム作成 4 疼痛の病態生理とコントロール 5 歩行並びに高次動作障害の三次元動作分析 6 神経筋疾患に対する車いすシーティング
基 礎 医 学 部 門	解剖学第一講座	1 消化管の超微形態学のおよび三次元的解析 2 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 3 ITをフル活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 4 インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 5 神経細胞の分化と神経突起形成機構の解析 6 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルの機能解析 7 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築 (URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/) 8 Multi-Language Digital Anatomical Database (情報G7 サブプロジェクト8) 9 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 10 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析
	解剖学第二講座	1 再生医学と変性疾患の解明のための幹細胞研究 2 脳腸相関 3 骨格標本を用いた生物人類学的研究 4 バイオメカニクス研究
	細胞生理学講座	1 発生期心筋におけるイオンチャネルの機能・構造の変化に関する研究 2 心筋・平滑筋細胞のカルシウム動態とイオンチャネル活動の連関に関する研究 3 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究
	神経科学講座	1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 脊髄損傷に対する末梢神経移植 4 学習の神経機構 5 シナプスの可塑性と海馬LTP
	医化学講座	1 糖質結合蛋白質の構造と機能に関する研究 2 増殖因子受容体のN型糖鎖の機能に関する研究 3 コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明 4 生体防御関連受容体の構造と機能に関する研究 5 肺サーファクタントアポ蛋白の病態医化学的研究

基	生 化 学 講 座	1 癌エピジェネティクス（DNAメチル化とヒストン修飾） 2 癌のシグナル伝達機構 3 細胞周期チェックポイント機構 4 癌関連機能性RNA 5 膜脂質シグナル系の制御機構 6 ジアシルグリセロールキナーゼ 7 ホスファチジン酸ホスファターゼ 8 細胞骨格再構成系の制御機構 9 上皮増殖因子受容体とインスリン受容体の生理活性脂質を介した制御機構 10 アポトーシスに關与する生理活性脂質
	病理学第一講座	1 腫瘍免疫分子機構、ヒト癌ワクチン開発 2 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 3 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 4 胸腺上皮による免疫寛容誘導機構 5 リンパ球抗原と機能 6 移植片拒絶の制御機構 7 分子シャペロンと神経細胞変性機構 8 アポトーシスの分子機構 9 細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌 10 シグナル伝達機構 11 白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学 12 遺伝子診断と分子病理 13 寄生虫病と分子病理 14 海洋生物産生物質と癌、免疫、医学 15 重力医学、宇宙医学
医	病理学第二講座	1 生体バリアの分子病理学 2 粘膜の生体防御と病態生理 3 鼻粘膜とタイト結合 4 肝細胞のギャップ結合調節機構 5 肝疾患と血液胆汁関門 6 シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構 7 上皮細胞の極性形成機構 8 細胞間隙における分子通過機構 9 血液組織関門の制御機構 10 核内ステロイド受容体群の新規作用 11 発がん過程における上皮構築破綻の機序 12 悪性腫瘍におけるタイト結合異常
	微生物学講座	1 病原微生物の病原因子に関する研究 2 ウイルス感染によるサイトカイン及びTLRシグナル伝達系の変動に関する研究 3 細胞分化に伴うインターフェローンシステムの变化 4 薬剤耐性機構の解明及び分子疫学 5 難治性疾患における病原微生物、内在性レトロウイルス、レトロポゾン等の関与 6 プリオン蛋白遺伝子プロモータ領域の解析及びプリオン蛋白蓄積機構の解明
部	薬 理 学 講 座	1 老化の科学的解明 2 細胞内カルシウムイオンの働きと意義
	衛 生 学 講 座	1 ウイルス性下痢症の分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 6 感染症流行に関する時系列解析
	公衆衛生学講座	1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究 3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究 5 身体活動増加の介入による各種疾患の予防に関する研究 6 環境要因がエピジェネティクスに与える影響に関する研究
門	法 医 学 講 座	1 アルコール等濫用薬物の細胞内情報伝達機構 2 アルコール性・非アルコール性臓器障害の発生・進展機序 3 飲酒マーカーの探索と応用 4 アルコールの寿命に及ぼす影響 5 アルコール代謝酵素多型と作用の関係 6 アルコール関連死の病態機序 7 突然死の分子機構と診断法の開発 8 死因究明制度研究 9 死因診断に関する研究

臨 床 医 学 部 門	内科学第一講座	1 消化器癌のゲノム情報に基づく遺伝子診断及び遺伝子治療 2 アポトーシスの応用による癌の遺伝子治療 3 癌の新しい分子標的治療の開発 4 潰瘍性大腸炎・クローン病の再生治療、免疫治療 5 消化器癌の拡大内視鏡診断・超音波内視鏡診断と生検材料を用いた遺伝子診断 6 肝・胆・膵領域における新しい画像診断及び遺伝子を基盤とした治療 7 消化管癌における新しい癌化促進分子機構の解明と臨床応用 8 消化器癌進展（浸潤・転移）分子機構と遺伝子診断・治療応用 9 肝臓における前癌病変の発生機序とその阻止に関する研究 10 I V Rを用いた癌に対する新しい標的免疫治療の開発 11 自己免疫疾患の感受性遺伝子（S N P）解明 12 自己免疫疾患の新しい治療法の開発 13 アレルギー疾患の新しい治療法の開発 14 後天性免疫不全症候群の遺伝子診断及び遺伝子治療 15 新しいオーダーメイド医療の開発 16 免疫・内分泌・神経アキシス
	内科学第二講座	1 本態性・各種2次性高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病・高脂血症の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法における基礎的・臨床的研究 4 虚血性心疾患の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究 6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究 7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究 8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究 10 高血圧、糖尿病の発症と進展に関する疫学的研究 11 虚血性心疾患の発症と予後規定因子に関する疫学的研究 12 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 13 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究 14 各種血液浄化法に関する臨床的研究 15 腎不全におけるカルシウム、リン代謝に関する臨床的研究 16 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究 17 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究
	内科学第三講座	1 特発性間質肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺サーファクタント蛋白の機能に関する研究 3 肺癌の診断、予後因子、治療に関する研究 4 肺癌の浸潤転移に関する分子生物学的研究 5 サルコイドーシスの診断、病態に関する研究 6 気管支喘息の病態、治療に関する研究 7 環境と気管支喘息、過敏性肺炎に関する研究 8 膠原病の肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 9 各種肺疾患の三次元的病態像の解析 10 臨床C T、MR I、超音波像の解析 11 肺気腫の診断、病態に関する研究 12 H R C Tをもちいた末梢気道立体構築の研究
	内科学第四講座	1 骨髄幹細胞を用いた再生医療、人工骨髄開発に関する研究 2 大腸癌発生に関わるaberrant crypt foci に関する研究 3 T G F - β のシグナル伝達機能と疾病に関する研究 4 C型肝炎の治療抵抗性因子としての鉄過剰とその治療法に関する研究 5 血小板産生調節機構に関する研究 6 酸化了的DNA損傷と発がんに関する研究 7 白血病細胞におけるアポトーシスシグナルに関する研究 8 アルゴンプラズマレーザを用いた消化管病変の治療 9 肝胆膵悪性腫瘍に対するInterventional therapyによる臨床研究 10 抗V L A 4抗体を用いた急性骨髄性白血病の治療に関する研究 11 ヒト間葉系幹細胞を用いた肝再生機構に関する研究 12 肝線維化に関する研究 13 進行・再発胃癌に対するDocetaxel-CDDP-TS1 併用化学療法の臨床研究 14 難治性膵癌に対する血行改変術併用動注化学療法の臨床研究

臨	脳神経外科学座 講	1	もやもや病の遺伝子解析
		2	3D CTAやEPI を用いた functional MRI などの新しい画像診断システムの開発
		3	脳健診による脳疾患の予防的治療法の確立
		4	グリオーマの免疫療法の研究
		5	脊髄損傷の基礎研究
		6	血管内手術の基礎的研究
		7	脳動脈瘤の遺伝子解析
		8	神経幹細胞移植に関する研究
		9	脊髄誘発電位の臨床応用
		10	神経損傷時の再生に関する研究
		11	神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発
		12	術中脳腫瘍標識法の基礎的研究
		13	未破裂脳動脈瘤のリスクコミュニケーション研究
		14	リスクマネージメント研究
床	産婦人科学講座	1	婦人科癌の浸潤・転移機構の解析
		2	婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断
		3	卵巣黄体機能の研究
		4	排卵障害と体謝異常に関わる遺伝子多型の関わり
		5	子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割
		6	子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究
		7	婦人科疾患の超微形態学的研究
		8	子宮内膜症の分子生物学的検討
		9	卵巣癌での薬剤耐性克服
		10	バイスタンダー効果を応用した遺伝子治療の研究
医	小児科学講座	1	RSウイルス感染症に関する研究
		2	ウイルス性胃腸炎に関する研究
		3	サイトメガロウイルス感染症に関する研究
		4	パルボウイルスB19感染症に関する研究
		5	先天性筋緊張性ジストロフィーの遺伝子診断に関する研究
		6	脊髄性筋萎縮症の遺伝子診断に関する研究
		7	新しいカテーテルインターベンション法の開発に関する研究
		8	胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究
		9	造血幹細胞移植に関する研究
		10	造血幹細胞移植時の移植片対宿主病（GVHD）の診断と治療に関する研究
		11	造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究
学	眼科学講座	1	網膜変性症の病態及び治療研究
		2	正常眼圧緑内障の病態に関する研究
		3	斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究
		4	眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発
		5	眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
部	皮膚科学講座	1	皮膚メラニン機構の生物学的・分子生物学的機序の解明
		2	メラニン形成関連遺伝子の構造と機能の解析
		3	皮膚癌・悪性黒色腫の化学療法と標的分子治療法の開発
		4	皮膚色素異常症の病態・治療法の分子生物学的アプローチ
		5	皮膚創傷治癒の生物学的・分子生物学的機序の研究とその臨床応用
		6	皮膚腫瘍の微細構造の画像化と3次元解析
		7	紫外線生物学と色素性乾皮病の遺伝子診断
		8	メラノーマにおけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究
		9	皮膚ウイルス感染症の病態に関する研究
部	泌尿器科学講座	1	男子性機能の研究
		2	男子不妊症の成因と治療の研究
		3	泌尿生殖器腫瘍学
		4	癌免疫
		5	前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究
		6	尿路・性器感染症の疫学、発症機序と治療の研究、特に尿路粘膜免疫学
		7	尿路再生・再建医学
		8	腎移植・移植免疫
		9	性別適合手術
門	耳鼻咽喉科学座 講	1	高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究
		2	扁桃の免疫学的機能に関する研究
		3	病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究
		4	上気道粘膜免疫に関する研究
		5	小児中耳炎の病態、治療法に関する研究
		6	鼻アレルギーの病態に関する研究
		7	頭頸部腫瘍・悪性リンパ腫に関する研究
		8	睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究
		9	音声言語機能に関する研究

臨床 医 学 部 門	口腔外科学講座	1 顎裂部骨移植の歯列形態に及ぼす影響に関する研究 2 口腔癌の分子生物学的研究 3 口腔癌の悪性度に関する研究 4 口腔癌の免疫治療に関する研究 5 口腔癌の機能温存療法に関する研究 6 口腔インプラントによる咀嚼機能回復に関する研究 7 顎変形症の形態と機能に関する研究
附 属 が ん 研 究 所	生 化 学 部 門	1 神経発生過程における分子メカニズムの解析 2 神経疾患に関する基礎的研究 3 スフィンゴ脂質とその結合タンパク質に関する研究 4 がん細胞の増殖・運動とカルシウムシグナリング
	分子生物学部門	1 ヒト癌の発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の機能の解明 3 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析 4 癌の遺伝子治療の基礎研究 5 癌における後成的遺伝子修飾の解析
	分 子 病 理 病 態 学 部 門	1 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝組織の再構築に関する研究 2 肝幹（前駆）細胞の増殖と分化に関する研究 3 細胞接着に関する研究 4 細胞外基質と疾患に関する研究 5 人工肝臓の基礎的研究
附属臨海医学研究所		1 海洋生物由来抗腫瘍物質（腫瘍血管新生阻害作用）に関する研究 2 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析 3 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索 4 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究
教育 研 究 機 器 セ ン タ ー	分 子 医 学 研 究 部 門	1 遺伝子治療のための基盤技術の開発 2 がんに対する遺伝子治療法の開発 3 難治疾患に対する再生治療・遺伝子治療 4 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用
	分 子 機 能 解 析 部 門	1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト介在試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
動物実験施設部		1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析 2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序 3 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構 4 牛抗菌ペプチドBMAP-28の疾病予防への応用性に関する研究 5 <i>Helicobacter pylori</i> による消化性潰瘍の発病機序解析

イ 保 健 医 療 学 部

看 護 学 科	基礎・臨床医学 講 座	1 ウイルス感染腫瘍の分子病理学的研究 2 消化器癌の転移に関する研究および消化器癌術後の病態生理に関する研究 3 化学物質の職業暴露による生殖毒性影響、神経行動機能影響に関する研究 4 超音波の生体に及ぼす影響に関する研究 5 保健医療情報管理に関する研究
	看護学第一講座	<基礎看護学> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 <成人看護学> 1 救急看護教育に関する研究 2 ストレスと生体応答に関する研究 3 リラクゼーション（腹式呼吸およびその他の技法）の介入に関する研究 4 ターミナルケアに関する研究 5 慢性病患者の病いに関する研究
	看護学第二講座	<母性看護学／小児看護学／看護管理学> 1 周産期女性の心理社会的要因に関する研究 2 母性看護学実習に関する研究 3 子育て支援の実践 4 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究 5 小児の遊びと発達支援に関する研究 6 病児へ医療処置を説明することとブレパレション 7 病児をもつ保護者への健康と禁煙支援 8 ヘルスケア向上の医療・看護提供サービスシステムの設計・開発・検証 9 補完代替療法活用の健康増進プログラムの開発や効果に関する研究

看護学 科	看護学第三講座	<地域看護学> 1 基礎教育における保健師の技術教育に関する研究 2 保健師活動の理論と実践に関する研究 3 保健師のキャリア発達に関する研究 4 育児支援に関する研究 5 障がい者の家族支援に関する研究 6 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 7 コミュニティ・アセスメントに関する研究 8 訪問看護ステーションの経済的評価に関する研究 9 海外渡航者・海外赴任者の健康に関する研究 10 社会的健康被害者に関する研究 <老人看護学> 1 可動性が低下した高齢者への看護援助に関する研究 2 認知症高齢者の看護援助に関する研究 3 リハビリテーション看護の専門性の確立に関する研究 4 神経難病のケアの構築に関する研究 <精神看護学> 1 精神障害を持つ人を成員とする家族に関する研究 2 子ども虐待における看護援助に関する研究 3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究 4 患者－看護師関係に関する研究 5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究
	基礎理学療法学座 講	1 運動習慣とNK細胞活性に関する研究 2 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 3 車いす/座位保持装置に関する研究 4 高齢者における姿勢保持に関する研究 5 上肢関節・靱帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 6 高齢者の運動機能と健康の関係 7 感覚と運動に関する神経科学的研究 8 運動器疾患の予防と治療のための運動学的研究 9 骨格筋の機能解剖学的研究
理学療法 学 科	臨床理学療法学座 講	1 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究 2 スポーツ外傷障害の予防と治療そしてリハビリテーションに関する研究 3 脳卒中の運動障害に関する臨床解剖学的研究 4 運動発達遅滞児及び障害児の運動学的神経学的研究 5 呼吸理学療法の効果に関する臨床的研究 6 超音波画像診断を応用した運動器障害理学療法診断に関する研究 7 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究
	基礎作業療法学座 講	1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指動作の解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法の効果の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 遺伝性神経筋疾患の分子遺伝学的研究 7 手指の屈筋腱滑走に関する超音波診断器機を用いた滑走距離の検討 8 演奏家における手指の機能障害に関する研究：調査・動作解析 9 指関節（IP、MP関節）における神経終末の組織学的研究
作業療法 学 科	臨床作業療法学座 講	1 地域精神保健領域における作業療法の方策に関する研究 2 精神障害領域における作業療法の臨床的効果に関する研究 3 軽度発達障害の障害構造の解明及び治療方法の確立 4 神経精神機能障害の機構解明と治療に関する研究 5 高齢者、認知症患者及び精神病患者の視覚認知機能と作業療法に関する研究

ウ 医療人育成センター

教養教育 科目	哲学・倫理学	1 医学哲学・生命倫理学研究 2 科学論研究 3 19世紀以降のヨーロッパ思想史の研究
	心理学	1 心臓血管系血行力学及び自律神経調節機能の無侵襲計測に関連する心理生理学研究 2 心理社会的ストレスに関する心理生理学的研究 3 ストレスマネジメントの心理生理学的研究 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法学・社会学	1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究 2 生命誕生や死の迎え方など生命倫理に関する基礎的テーマについての研究 3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理 4 アジアの企業におけるHIV/AIDS対策に関する医療人類学研究 5 日本とアメリカの医学・医療系教育における多文化医療教育

教 養 教 育 科 目	英 語	1 英国ヴィクトリア朝の文学 2 英語学・認知言語学・類型論 3 日本学、日米比較文化論 4 関連性理論に基づく発話の解釈 5 言語接触と変異―スコットランドの言語社会を中心として―
	運 動 科 学	1 生活習慣病の予防及び体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究 2 高齢者のADL低下抑制と体力、身体活動の関係についての研究 3 アスリートのライフマネジメント、並びに摂食障害に関する研究
	物 理 学	1 放射線防護と緊急被曝医療 2 医学物理 3 蛋白質タンデムリピートの構造、機能及び分子進化に関する研究 4 X線溶液散乱及び核磁気共鳴測定による蛋白質の立体構造研究
	化 学	1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究 2 アポトーシス誘引脂質の合成酵素に関する研究 3 カルモジュリンの立体構造のX線解析による解析研究 4 正確で簡易な抗酸化能評価技術の開発 5 食細胞の生体防御機能の研究 6 非侵襲画像診断法の開発
	生 物 学	1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究 2 動物の行動発現の生理的作用機序の研究 3 線虫類の系統分類学・生態学的研究 4 細胞機能発現におけるジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの役割 5 ビタミンB ₁₂ の栄養学に関する研究 6 青年期の健康にかかわる調査とそれを基にした「食教育」に関する研究
	数学・情報科学	1 統計データ解析 2 微分方程式の漸近理論 3 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究 4 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究 5 遠隔保健医療（テレヘルス）システムの構築に関する研究 6 デジタル映像処理と医療・保健応用に関する研究

エ 寄 附 講 座

緩和医療学講座	1 有効な緩和医療を提供するためのチームアプローチに関する研究 2 有効な緩和医療を提供するための患者評価法に関する研究 3 緩和ケアプログラムの地域介入と緩和ケア均てん化に関する研究 4 オピオイド感受性の個人差と遺伝子多型に関する研究 5 骨がん疼痛に対する新規治療法に関する臨床研究 6 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する臨床研究 7 難治性がん疼痛の神経科学的基盤解明と新たな治療法開発に関する基礎的研究 8 化学療法による末梢神経障害機序と治療法に関する基礎的研究
分子標的探索講座	1 がん細胞におけるTGF β /PP2A/P53シグナルの解明に基づくがんの治療法の開発（橋渡し研究） 2 がん細胞・炎症細胞、血管内皮細胞のモテリテイシグナルの解明に基づくがん転移、慢性炎症の治療法の開発（橋渡し研究） 3 がん随伴繊維芽細胞を標的とした新規がん治療法の開発 4 膵がんの集学的遺伝子治療 5 大腸がんの化学予防に関する研究 6 組織リモデリングにともなう幹細胞活性化の機構解明

オ 特 設 講 座

神経再生医学講座	1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
----------	--

(9) 文部科学省GPの採択・実施状況

(平成20年9月30日現在)

ア 平成17年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- (ア) 事業名 : 医学研究者・地域医療従事者支援型知財教育
(イ) 年次 : 平成17年度～平成20年度
(ウ) 概要 : 学部生、大学院生の多様なニーズ、意欲にも対応できるよう、知財への関心喚起を狙いと
した入門講座から、研究成果の実効的な技術移転を可能とする研究者の養成など、5つのコー
ス別知財教育の取り組みを行う。

イ 平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- (ア) 事業名 : 高大一貫型プログラムによる効果的職業教育
(イ) 年次 : 平成18年度～平成20年度
(ウ) 概要 : 高校と大学が密接に連携し、看護師・保健師、理学療法士、作業療法士の職業及びその社
会的役割、並びに大学における教育の具体的な内容や臨床現場の実際について、高校3年生
を対象としたプレ教育のためのe-Learningプログラムを開発する。
入学後の学生を対象とし、大学のカリキュラムを履修するために必要となる物理学、生物
学などの基礎科目のリメディアル教育のためのe-Learningプログラムを開発する。

ウ 平成19年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム

- (ア) 事業名 : 双方向型医療コミュニケーション教育の展開
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要 : サイエンスカフェの医療版「メディカルカフェ」の実施により、学生の医療コミュニケー
ション能力の向上及び住民の医学・医療理解を推進する。
○北海道医療大学と共同申請

エ 平成19年度社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

- (ア) 事業名 : 大学、メディア、行政が連携する「高齢者健康づくりリーダー」実践的養成プログラム
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要 : 高齢者の健康づくり活動を担うOT、PT、看護師等の専門職の技術力向上及びリーダー
養成プログラムを実施する。

オ 平成19年度特色ある大学教育支援プログラム

- (ア) 事業名 : 学部一貫教育による地域医療マインドの形成
(イ) 年次 : 平成19年度～平成21年度
(ウ) 概要 : 両学部実施実習の合同化及び「地域医療合同セミナー」の創設により、系統的、継続的な
地域医療教育を実施し、地域医療に貢献する医療人を育成する。

カ 平成19年度がんプロフェッショナル養成プラン

- (ア) 事業名 : 北海道の総合力を生かすプロ養成プログラム
ー大学、地域、病院の連携を生かしたがん専門医療人の育成を目指してー
(イ) 年次 : 平成19年度～平成23年度
(ウ) 概要 : がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師及びがんに関わるコメディ
カル等、がんに特化した医療人の養成を行う大学院教育プログラムである。
○北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

キ 平成20年度大学病院連携型高度医療人養成推進事業

- (ア) 事業名 : 自立した専門医を育むオール北海道プラス^{わん}1
(イ) 年次 : 平成20年度～平成24年度
(ウ) 概要 : 専門医を育成し、その専門医が大学あるいは教育病院で指導医として専門研修医の教育に
あたるシステムを確立する。
この間、道内全3医大間で共有した地域関連教育病院で幅広い一般診療経験を道外の
東京慈恵会医科大学が加わった4大学病院で高度な専門性を習得する。
○北海道大学、旭川医科大学、東京慈恵会医科大学と共同申請

ク 平成20年度戦略的大学連携支援事業

- (ア) 事業名 : 北海道の地域医療の新展開を目指した異分野大学院連携教育プログラムによる人材育成
(イ) 年次 : 平成20年度～平成22年度
(ウ) 概要 : 北海道地域に密着した医療系、工学系、情報系、経営系の異分野による国公立大学が連
携し、医療や保健福祉を中心とした地域活性化のための人材育成を行う。
具体的には、各大学の修士課程に連携大学による共通カリキュラムを編成し、各大学の学
生が選択する。この横断的な取り組みにより、幅広い能力を身につけた医療マインドを持つ
専門職者を育成し地域へ輩出する。
○室蘭工業大学、小樽商科大学、北海道医療大学、千歳科学技術大学と共同申請

ケ 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム

- (ア) 事業名 : 死亡時画像診断による教育支援プログラム
ー人間性豊かな医師の育成を目指してー
(イ) 年次 : 平成20年度～平成22年度
(ウ) 概要 : 死亡時画像診断(Ai)と病理解剖を行った症例について臨床病理検討会(CPC)の教育コ
アカリキュラムに盛り込むことにより、学生に“患者の死”を体験させる。
これを契機とし、医師として必要な生命の尊厳や死生観などの感性を育むとともに、Aiや
病理解剖による医学知識を習得させる新しい医学教育プログラムを実施する。

注) GPとは、各大学等が実施する教育改革の取組の中から、他の大学等の参考となるような優れた取組 (Good Practice) を選び、支援する文部科学省の大学教育改革促進のためのプログラムです。

(10) 国 際 交 流

ア 北方医学交流

北方圏諸国の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を推進し、北方圏諸国にふさわしい医学の教育機関とし相互発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、平成11年度から、学生が国際的な視野を広げ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、学生の海外派遣を実施している。

	フィンランド	カナダ		中国		アメリカ
協定締結先	パウロ財団 (ヘルシンキ、トゥルク、オウル、 タンペレ、オボ大学)	アルバータ大学	カルガリー大学	中国医科大学	佳木斯大学	マサチューセッツ 州 立 大 学
開始年度	1977	1983	1984	1982	2008	1994
現協定期限	H19.5-24.5	H17.11-20.10	H17.7-20.6	H19.4-22.3	H20.4-23.3	H19.4-22.3
派遣 協定人数 (年間)	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(30日間)	1名(2週間)
派遣 派遣総数	30名	34名	30名	40名	—	21名
受入 協定人数 (年間)	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(30日間)	1名(2週間)
受入 受入総数	30名	29名	32名	39名	—	9名
その他の 協定の概要	・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は適当な宿泊施設を手配する。) ・研究成果の報告書の作成が必要。					
学 生 派 遣		【語学研修】 15年度 中止 16年度 中止 17年度 12名 18年度 6名 19年度 8名	【臨床研修(血液学)】 15年度 2名 16年度 4名 17年度 4名 18年度 4名 19年度 6名			

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている（日本人、外国人の区別はない）。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

平成13年度 12名 平成14年度 15名 平成15年度 18名 平成16年度 13名 平成17年度 17名
平成18年度 10名 平成19年度 15名

ウ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- (1) 会議室（1室）、研修室（2室） セミナーや共同研究に使用する。（研修室の1室は、茶会などにも利用できる和室）
- (2) 多目的ホール（2室） 国際友好・交流に使用する多目的ホール
- (3) 宿泊室（シングル3室、ツイン1室） 外国人研究者が利用できる宿泊室

エ 教員在外研究等

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	19年度	18年度		19年度	18年度		19年度	18年度		19年度	18年度
【アジア】			【中東】			オーストリア	6	1	ハンガリー	3	0
インド	6	2	トルコ	0	2	オランダ	1	2	ルーマニア	1	0
インドネシア	0	1	【オセアニア】			ギリシャ	0	1	モナコ	1	0
韓国	3	13	オーストラリア	1	12	スイス	3	2	ロシア	1	0
シンガポール	1	2	ニュージーランド	2	2	スウェーデン	0	3			
タイ	5	10	【北米】			スペイン	0	7			
台湾	2	2	アメリカ合衆国	83	83	スロベニア	1	2			
中国	12	9	カナダ	12	8	セルビア	1	2			
バングラデシュ	2	2	【中南米】			チェコ	1	0			
ベトナム	2	4	キューバ	1	0	ドイツ	13	6			
マレーシア	3	2	アルゼンチン	1	0	フィンランド	1	5			
ミャンマー	0	1	【ヨーロッパ】			フランス	2	2			
モンゴル	0	1	イギリス	3	9	ブルガリア	0	2			
ラオス	0	1	イタリア	7	6	ポルトガル	4	4	合 計	185	211

(11) 標 本 館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。

近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日	—	昭和49年3月31日	三 橋 公 平	(解剖学第二講座教授)
昭和49年4月1日	—	昭和53年3月31日	八十島 信之助	(法医学講座教授)
昭和53年4月1日	—	昭和57年3月31日	菊 地 浩 吉	(病理学第一講座教授)
昭和57年4月1日	—	昭和61年3月31日	山 崎 英 雄	(生物学教授)
昭和61年4月1日	—	昭和63年3月31日	森 道 夫	(病理学第二講座教授)
昭和63年4月1日	—	平成2年3月31日	百 々 幸 雄	(解剖学第二講座教授)
平成2年4月1日	—	平成7年3月31日	高 橋 杏 三	(解剖学第一講座教授)
平成7年4月1日	—	平成11年3月31日	森 田 匡 彦	(法医学講座教授)
平成11年4月1日	—	平成16年3月31日	佐 藤 昇 志	(病理学第一講座教授)
平成16年4月1日	—	平成18年3月31日	澤 田 典 均	(病理学第二講座教授)
平成18年4月1日	—	現 在	辰 巳 治 之	(解剖学第一講座教授)

イ 概 況

(平成20年4月1日現在)

資 料	区 分	点 数
肉 眼 標 本	発 生 学	83
	解 剖 学	404
	病 理 学	466
	法 医 学	47
	薬 理 学	273
	皮 膚 科 学	50
	放 射 線 医 学	7
	寄 生 虫 学	49
	生 物 学 他	23
模 型	解 剖 学	38
光 顕 用 ス ラ イ ド 投 影 用 ス ラ イ ド	生 物 学	3,045
	解 剖 学	6,645
	病 理 学	30,005
	法 医 学	6
	内 科 学	40
	脳 神 経 外 科 学	101
	眼 科 学	105
	皮 膚 科 学	52
	寄 生 虫 学	403
	そ の 他	6
大 切 片 標 本	病 理 学	1,364
医療機器・医療機具	内 科 学 ・ 一 般 外 科 学 他	477
視 聴 覚 資 料	解 剖 学 ・ 眼 科 学 ・ 内 科 学 他	113
図 書	臨 床 X 線 写 真 診 断 学 大 系	64
	古 医 書 ・ 一 般 医 学 関 係 書	855
その他の医学資料	大 学 資 料 ・ 眼 科 学 他	471
合 計		45,192

ウ 利用状況

(平成19年度 単位：人)

利 用 の 内 訳	見 学	情 報 機 器 の 使 用	顕 微 鏡 の 使 用	ビ デ オ 教 材 の 使 用	セ ミ ナ ー 自 習
学 内	教 職 員	203	8	1	0
	学 生	399	140	1	0
学 外	医療関係者	3,275	0	2	1,566
計		3,877	148	4	1,566

2 学 事 事 項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年 度	区 分	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
		志願者数 A	入学者数 B	志願者倍率 $\frac{A}{B}$	志願者数 C	入学者数 D	志願者倍率 $\frac{C}{D}$	志願者数 E	入学者数 F	志願者倍率 $\frac{E}{F}$	志願者数 G	入学者数 H	志願者倍率 $\frac{G}{H}$	
昭和 2 5 年度		人 69	人 44	1.57	人	人		人	人		人	人		
昭和 2 6 年度		170	41	4.15										
昭和 2 7 年度		183	45	4.07										
昭和 2 8 年度		232	65	3.57										
昭和 2 9 年度		300	66	4.55										
昭和 3 0 年度		332	66	5.03										昭和 3 0 年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和 3 1 年度		401	66	6.08										
昭和 3 2 年度			65											
昭和 3 3 年度			59		951	66	14.41							
昭和 3 4 年度			58		996	66	15.09							昭和 3 2 年度から北大への委託生が進学した
昭和 3 5 年度					995	68	14.63							
昭和 3 6 年度					878	71	12.37							
昭和 3 7 年度					941	67	14.04							
昭和 3 8 年度					957	87	11.00							昭和 3 3 年度に進学課程が設置された
昭和 3 9 年度					1,322	87	15.20							
昭和 4 0 年度					1,566	81	19.33							
昭和 4 1 年度					1,924	79	24.35							
昭和 4 2 年度					390	87	4.48							昭和 3 4 年度で北大への委託を終了した
昭和 4 3 年度					674	80	8.43							
昭和 4 4 年度					709	84	8.44							
昭和 4 5 年度					989	80	12.36							
昭和 4 6 年度					860	85	10.12							昭和 5 4 年度から進学課程及び専門課程が廃止され 6 年間一貫教育体制となった
昭和 4 7 年度					832	80	10.40							
昭和 4 8 年度					810	86	9.42							
昭和 4 9 年度					778	100	7.78							
昭和 5 0 年度					868	100	8.68							
昭和 5 1 年度					683	99	6.90							
昭和 5 2 年度					840	97	8.66							昭和 5 4 年度から大学入学者の選抜は、共通第 1 次学力試験と札幌医科大学の第 2 次学力試験により行われた
昭和 5 3 年度					793	100	7.93							
昭和 5 4 年度								483	100	4.83				
昭和 5 5 年度								314	100	3.14				
昭和 5 6 年度								355	101	3.51				
昭和 5 7 年度								362	100	3.62				
昭和 5 8 年度								517	100	5.17				
昭和 5 9 年度								495	100	4.95				
昭和 6 0 年度								354	100	3.54				昭和 6 2 年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
昭和 6 1 年度								357	100	3.57				
昭和 6 2 年度								729	105	6.94				
昭和 6 3 年度								655	100	6.55				
平成 元 年度								536	103	5.20				
平成 2 年度								589	100	5.89				平成 2 年度から大学入試センター試験実施
平成 3 年度								521	101	5.16				
平成 4 年度								603	100	6.03				
平成 5 年度								506	100	5.06	932	95	9.81	
平成 6 年度								777	104	7.47	490	98	5.00	平成 5 年度に保健医療学部が設置された
平成 7 年度								563	98	5.74	422	98	4.31	
平成 8 年度								638	101	6.32	372	96	3.88	
平成 9 年度								1,042	99	10.53	410	96	4.27	
平成 1 0 年度								848	100	8.48	466	96	4.85	平成 9 年度から入学者選抜の方法が分離分割方式となり、受験機会の複数化された
平成 1 1 年度								799	100	7.99	404	97	4.16	
平成 1 2 年度								1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成 1 3 年度								809	100	8.09	457	97	4.71	
平成 1 4 年度								972	100	9.72	411	97	4.24	
平成 1 5 年度								941	100	9.41	427	96	4.45	
平成 1 6 年度								648	100	6.48	462	94	4.91	
平成 1 7 年度								912	100	9.12	452	96	4.71	
平成 1 8 年度								687	100	6.87	449	99	4.54	
平成 1 9 年度								709	101	7.01	342	99	3.45	
平成 2 0 年度								535	106	5.05	379	94	4.03	

イ 定員及び現員数

(平成20年5月1日現在 単位：人)

学 年		入 学 員	1 年 現 員	2 年 現 員	3 年 現 員	4 年 現 員	5 年 現 員	6 年 現 員	計 現 員
学 部	学 科								
医学部	医 学 科	105	106(29)	104(29)	99(31)	103(45)	97(27)	100(26)	609(187)
	看 護 学 科		50(40)	55(47)	52(49)	64(59)			221(195)
	編 入 学 生 数		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			0(0)
	計	50	50(40)	55(47)	52(49)	64(59)			221(195)
	理 学 療 法 学 科		22(8)	22(10)	22(5)	20(7)			86(30)
	編 入 学 生 数		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			0(0)
	計	20	22(8)	22(10)	22(5)	20(7)			86(30)
	作 業 療 法 学 科		22(13)	22(12)	22(12)	22(14)			88(51)
	編 入 学 生 数		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			0(0)
	計	20	22(13)	22(12)	22(12)	22(14)			88(51)
	編入学生総計		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)			0(0)
小 計		90	94(61)	99(69)	96(66)	106(80)			395(276)
学 部 合 計		195	200(90)	203(98)	195(97)	209(125)	97(27)	100(26)	1,004(463)
医学研究科	博 士 課 程	50	42(5)	29(5)	30(8)	27(7)	5(2)	3(1)	136(28)
	地域医療人間総合医学	18	11(1)	9(0)	11(2)	10(2)	1(1)		42(6)
	分子・器官制御医学	20	22(3)	12(2)	11(3)	15(4)	4(1)	3(1)	67(14)
	情報伝達制御医学	12	9(1)	8(3)	8(3)	2(1)			27(8)
	修 士 課 程	10	9(3)						9(3)
	医 科 学	10	9(3)						9(3)
	小 計	60	51(8)	29(5)	30(8)	27(7)	5(2)	3(1)	145(31)
学保健研究医学科	看 護 学								
	博士課程前期	12	5(4)	13(9)	0(0)				18(13)
	博士課程後期	2	2(2)	2(2)	2(2)				6(6)
	理学療法学	12	13(4)	12(5)	0(0)				25(9)
	作業療法学	6	6(2)	4(1)	18(9)				28(12)
小 計		32	26(12)	31(17)	20(11)				77(40)
大 学 院 合 計		92	77(20)	60(22)	50(19)	27(7)	5(2)	3(1)	222(71)
総 合 計		287	277(110)	263(120)	245(116)	236(132)	102(29)	103(27)	1,226(534)

※ () 内は女子学生数 (内数)

ウ 出身地別現員数

(平成20年5月1日現在)

学 年		1 年			2 年			3 年			4 年		
課 程	出身地	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計
医 学 部	人	77	29	106	76	28	104	75	24	99	77	26	103
	%	72.6	27.4	100.0	73.1	26.9	100.0	75.8	24.2	100.0	74.8	25.2	100.0
保健医療学部	人	84	10	94	96	3	99	84	12	96	98	8	106
	%	89.4	10.6	100.0	97.0	3.0	100.0	87.5	12.5	100.0	92.5	7.5	100.0
医学研究科	人	40	11	51	24	5	29	25	5	30	19	8	27
	%	78.4	21.6	100.0	82.8	17.2	100.0	83.3	16.7	100.0	70.4	29.6	100.0
保健医療学研究科	人	23	3	26	28	3	31	17	3	20			
	%	88.5	11.5	100.0	90.3	9.7	100.0	85.0	15.0	100.0			
計	人	224	53	277	224	39	263	201	44	245	194	42	236
	%	80.9	19.1	100.0	85.2	14.8	100.0	82.0	18.0	100.0	82.2	17.8	100.0

学 年		5 年			6 年			道 内 計	道 外 計	合 計
課 程	出身地	道 内	道 外	小 計	道 内	道 外	小 計			
医 学 部	人	77	20	97	60	40	100	442	167	609
	%	79.4	20.6	100.0	60.0	40.0	100.0	72.6	27.4	100.0
保健医療学部	人							362	33	395
	%							91.6	8.4	100.0
医学研究科	人	4	1	5	3	0	3	115	30	145
	%	80.0	20.0	100.0	100.0	0.0	100.0	79.3	20.7	100.0
保健医療学研究科	人							68	9	77
	%							88.3	11.7	100.0
計	人	81	21	102	63	40	103	987	239	1,226
	%	79.4	20.6	100.0	61.2	38.8	100.0	80.5	19.5	100.0

※出身地は、入学資格を取得した学校の所在地による

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

区 分 卒業年次	卒業生	出身地		区 分 卒業年次	卒業生	出身地		区 分 卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外			道内	道外
昭和29年（第1回）	36	22	14	昭和49年（第21回）	84	74	10	平成6年（第41回）	99	79	20
昭和30年（第2回）	41	35	6	昭和50年（第22回）	77	57	20	平成7年（第42回）	91	70	21
昭和31年（第3回）	47	41	6	昭和51年（第23回）	65	54	11	平成8年（第43回）	100	74	26
昭和32年（第4回）	66	58	8	昭和52年（第24回）	80	62	18	平成9年（第44回）	101	74	27
昭和33年（第5回）	69	60	9	昭和53年（第25回）	92	74	18	平成10年（第45回）	100	66	34
昭和34年（第6回）	58	49	9	昭和54年（第26回）	90	81	9	平成11年（第46回）	102	80	22
昭和35年（第7回）	67	54	13	昭和55年（第27回）	94	84	10	平成12年（第47回）	100	58	42
昭和36年（第8回）	62	54	8	昭和56年（第28回）	95	81	14	平成13年（第48回）	109	60	49
昭和37年（第9回）	59	35	24	昭和57年（第29回）	95	84	11	平成14年（第49回）	99	58	41
昭和38年（第10回）	59	32	27	昭和58年（第30回）	107	96	11	平成15年（第50回）	94	62	32
昭和39年（第11回）	63	54	9	昭和59年（第31回）	99	87	12	平成16年（第51回）	101	74	27
昭和40年（第12回）	65	58	7	昭和60年（第32回）	94	90	4	平成17年（第52回）	103	72	31
昭和41年（第13回）	66	54	12	昭和61年（第33回）	97	90	7	平成18年（第53回）	95	60	35
昭和42年（第14回）	62	58	4	昭和62年（第34回）	86	75	11	平成19年（第54回）	103	67	36
昭和43年（第15回）	62	58	4	昭和63年（第35回）	89	79	10	平成20年（第55回）	103	73	30
昭和44年（第16回）	80	71	9	平成元年（第36回）	116	96	20	合 計	4,615	3,660	955
昭和45年（第17回）	74	63	11	平成2年（第37回）	92	79	13				
昭和46年（第18回）	78	63	15	平成3年（第38回）	101	85	16				
昭和47年（第19回）	73	60	13	平成4年（第39回）	99	84	15				
昭和48年（第20回）	69	55	14	平成5年（第40回）	107	87	20				

イ 保健医療学部

(単位：人)

区 分 卒業年次	看護学科 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道内	道外
平成9年（第1回）	48	21	19	88	76	12
平成10年（第2回）	51 (3)	25 (3)	22 (3)	98 (9)	72 (8)	26 (1)
平成11年（第3回）	61 (8)	21 (1)	20 (0)	102 (9)	71 (6)	31 (3)
平成12年（第4回）	54 (5)	23 (2)	23 (4)	100 (11)	78 (11)	22 (0)
平成13年（第5回）	58 (9)	22 (2)	24 (2)	104 (13)	79 (9)	25 (4)
平成14年（第6回）	54 (8)	24 (2)	21 (2)	99 (12)	76 (8)	23 (4)
平成15年（第7回）	57 (5)	27 (3)	24 (2)	108 (10)	93 (9)	15 (1)
平成16年（第8回）	53 (5)	23 (2)	21 (0)	97 (7)	83 (7)	14 (0)
平成17年（第9回）	52 (5)	21 (2)	23 (0)	96 (7)	83 (7)	13 (0)
平成18年（第10回）	49 (4)	30 (2)	21 (1)	100 (7)	85 (5)	15 (2)
平成19年（第11回）	56 (4)	23 (1)	23 (2)	102 (7)	91 (5)	11 (2)
平成20年（第12回）	49 (1)	22 (1)	21 (0)	92 (2)	82 (2)	10 (0)
合 計	642 (57)	282 (21)	262 (16)	1,186 (94)	969 (77)	217 (17)

※1 出身地は学位記記載の本籍地による

※2 () 内は編入学生数（内数）

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 97 回 (平成15年)	94	93	93	100.0	2	0	0.0	95	93	97.9
第 98 回 (平成16年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成17年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第100回 (平成18年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第101回 (平成19年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第102回 (平成20年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 92 回 (平成15年)	50	50	49	98.0	2	2	100.0	52	51	98.1
第 93 回 (平成16年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成17年)	47	47	47	100.0	0	0	－	47	47	100.0
第 95 回 (平成18年)	45	45	45	100.0	0	0	－	45	45	100.0
第 96 回 (平成19年)	52	52	52	100.0	0	0	－	52	52	100.0
第 97 回 (平成20年)	49	48	48	100.0	0	0	－	48	48	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 89 回 (平成15年)	57	56	56	100.0	2	2	100.0	58	58	100.0
第 90 回 (平成16年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成17年)	52	50	46	92.0	0	0	－	50	46	92.0
第 92 回 (平成18年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成19年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94 回 (平成20年)	49	47	46	97.9	0	0	－	47	46	97.9

エ 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 38 回 (平成15年)	27	24	24	100.0	0	0	－	24	24	100.0
第 39 回 (平成16年)	23	21	21	100.0	0	0	－	21	21	100.0
第 40 回 (平成17年)	19	19	17	89.5	0	0	－	19	17	89.5
第 41 回 (平成18年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第 42 回 (平成19年)	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第 43 回 (平成20年)	22	21	21	100.0	0	0	－	21	21	100.0

オ 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 38 回 (平成15年)	24	22	22	100.0	0	0	－	22	22	100.0
第 39 回 (平成16年)	21	21	21	100.0	0	0	－	21	21	100.0
第 40 回 (平成17年)	23	23	23	100.0	0	0	－	23	23	100.0
第 41 回 (平成18年)	21	20	20	100.0	0	0	－	20	20	100.0
第 42 回 (平成19年)	21	21	21	100.0	0	0	－	21	21	100.0
第 43 回 (平成20年)	21	21	19	90.5	0	0	－	21	19	90.5

(4) 研究生数

(平成20年5月1日現在 単位：人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学	物理学	1	1	医学部臨床医学	内科学第一	30	17
	生物学				内科学第二	34	15
	解剖学第一	4	1		内科学第三	30	20
	解剖学第二	3	3		内科学第四	32	24
	細胞生理学				神経内科学	11	4
	神経科学				外科学第一	18	12
	医化学				外科学第二	4	1
	生化学				整形外科	23	8
	病理学第一	7			脳神経外科学	3	
	病理学第二	1			産婦人科学	6	3
	微生物学				小児科学	17	9
	薬理学				眼科学	7	2
	衛生学				皮膚科学	4	1
	公衆衛生学	2			泌尿器科学	4	
	法医学				耳鼻咽喉科学	8	1
	附属がん研生化学				神経精神医学	19	3
	附属がん研分子生物学				放射線医学	11	2
	附属がん研分子病理病態学	1			麻酔学	24	2
	附属臨海医学研究所				地域医療総合医学	1	
	教育研究機器センター				臨床検査医学		
	動物実験施設部				救急・集中治療医学	20	13
	基礎医学計	19	5		口腔外科学	13	4
					産科周産期科学		
					形成外科学	5	
					医療薬学		
					病理診断学	5	2
					リハビリテーション医学	3	
					臨床医学計	332	143
					医学部計	351	148
保健医療学部	看護学	2		保健医療学部	理学療法学	1	
	作業療法学				一般教育	2	
	保健医療学部計	5			保健医療学部計	5	0
	附属総合情報センター	1					
	合計	357	148				

(5) 博士（医学）の学位授与者数

(単位：人)

年度	区分	本 学 大 学 院 修 了 者									一般論文提出者	合 計		
	専攻	生 理 系	病 理 系	社会 医学系	内 科 系	外 科 系	総 合 医 学	地域医療人 間	制 御 医 学	分子・器 官			制 御 医 学	情 報 伝 達
昭 和 34 年 度 ～ 平 成 12 年 度		49	81	16	228	297						671	1,325	1,996
平 成 13 年 度		1			11	16						28	48	76
平 成 14 年 度		3	2		11	16						32	37	69
平 成 15 年 度			3		11	18						32	43	75
平 成 16 年 度					1	2	14	26	4	47	43	90		
平 成 17 年 度							17	33	2	52	19	71		
平 成 18 年 度					1		13	19	17	50	17	67		
平 成 19 年 度							4	11	5	20	30	50		
計		53	86	16	263	349	48	89	28	932	1,562	2,494		

(6) 修士及び博士の学位授与者数

(単位：人)

区 分		本 学 大 学 院 修 了 者					計
		修 士 課 程			博 士 課 程		
年 度	専 攻	看護学	理学療法学・作業療法学		理学療法学・作業療法学		
	学 位	看護学	理学療法学	作業療法学	理学療法学	作業療法学	
平 成 11 年 度		9	6	3			18
平 成 12 年 度		6	4	3			13
平 成 13 年 度		4	5	4			13
平 成 14 年 度		8	8	3	1	3	23
平 成 15 年 度		6	2	3	2	1	14
平 成 16 年 度		6	6	7	1	1	21
平 成 17 年 度		7	7	4	1	1	20
平 成 18 年 度		5	7	3	2	4	21
平 成 19 年 度		7	9	3	3	2	24
計		58	54	33	10	12	167

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事落成
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事落成
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事落成
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事落成
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事落成
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター指定
平成11年3月24日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センターを設置
平成14年10月1日	高度救命救急センターを設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	N I C Uを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	昭和35年3月31日	瀧	本	庄	蔵
昭和35年4月1日	昭和39年3月31日	南	浦	邦	夫
昭和39年4月1日	昭和41年3月31日	高	山	坦	三
昭和41年4月1日	昭和45年3月31日	末	吉	利	三
昭和45年4月1日	昭和49年3月31日	浜	谷	松	夫
昭和49年4月1日	昭和51年3月31日	立	野	誠	吾
昭和51年4月1日	昭和53年3月31日	橋	場	輝	芳
昭和53年4月1日	昭和55年2月8日	河	邨	文	一郎
昭和55年2月9日	昭和55年2月29日	神	村	瑞	夫
昭和55年3月1日	昭和57年3月31日	神	村	瑞	夫
昭和57年4月1日	昭和61年2月8日	漆	崎	一	朗
昭和61年2月9日	昭和61年2月28日	熊	本	悦	明
昭和61年3月1日	平成2年2月28日	小	松	作	蔵
平成2年3月1日	平成4年2月8日	谷	内		昭
平成4年2月9日	平成4年2月29日	谷	内		昭
平成4年3月1日	平成8年2月29日	飯	村		攻
平成8年3月1日	平成10年2月28日	形	浦	昭	克
平成10年3月1日	平成12年2月29日	千	葉	峻	三
平成12年3月1日	平成14年2月28日	工	藤	隆	一
平成14年3月1日	平成16年2月28日	並	木	昭	義
平成16年3月1日	平成20年3月31日	島	本	和	明
平成20年4月1日	一現	塚	本	泰	司

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位：人)

科 別	部門 年度	入 院 部 門			外 来 部 門		
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
第 一 内 科		17,297	16,977	17,707	32,871	32,546	33,291
第 二 内 科		17,284	16,971	19,219	36,319	39,259	41,364
第 三 内 科		15,764	13,314	15,234	12,739	13,031	13,420
第 四 内 科		22,362	20,313	19,820	23,191	24,228	24,184
神 経 内 科		7,579	7,747	7,454	12,545	12,404	12,179
第 一 外 科		17,857	16,895	16,995	14,177	15,051	15,140
第 二 外 科		12,826	12,681	11,581	5,093	5,335	5,290
整 形 外 科		18,690	17,221	17,862	28,549	29,301	29,351
脳 神 経 外 科		13,308	11,776	12,800	9,869	10,808	11,648
婦 人 科		15,216	15,195	15,212	17,199	17,241	17,930
産 科 周 産 期 科		10,036	10,300	9,334	3,462	3,768	3,197
小 児 科		10,575	11,847	11,587	9,250	9,513	11,074
眼 科		11,661	12,393	14,079	38,772	36,436	34,464
皮 膚 科		9,340	9,820	8,983	23,860	26,325	26,585
形 成 外 科		5,742	6,390	5,987	6,110	8,446	8,862
泌 尿 器 科		9,278	9,795	9,715	16,493	18,071	17,879
耳 鼻 咽 喉 科		13,093	13,426	13,816	24,708	26,631	27,357
神 経 精 神 科		15,873	15,311	13,952	27,483	28,985	27,716
放 射 線 科		13,736	12,982	13,564	34,571	32,451	34,024
麻 酔 科		2,821	2,324	2,259	10,669	11,619	12,121
総 合 診 療 科		484	301	578	5,051	4,714	4,491
歯 科 口 腔 外 科		9,026	8,704	10,820	21,322	21,200	23,296
リハビリテーション科		3,110	3,306	4,083	37,124	34,895	34,161
救急集中治療部		8,306	9,054	8,522	909	966	806
計		281,264	275,043	281,163	452,336	463,224	469,830

イ 1日平均患者数

(単位：人)

科 別	部門 年度	入 院 部 門			外 来 部 門		
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
第 一 内 科		47.4	46.5	48.4	134.7	132.8	135.9
第 二 内 科		47.4	46.5	52.5	148.8	160.2	168.8
第 三 内 科		43.2	36.5	41.6	52.2	53.2	54.8
第 四 内 科		61.3	55.7	54.2	95.0	98.9	98.7
神 経 内 科		20.8	21.2	20.4	51.4	50.6	49.7
第 一 外 科		48.9	46.3	46.4	58.1	61.4	61.8
第 二 外 科		35.1	34.7	31.6	20.9	21.8	21.6
整 形 外 科		51.2	47.2	48.8	117.0	119.6	119.8
脳 神 経 外 科		36.5	32.3	35.0	40.4	44.1	47.5
婦 人 科		41.7	41.6	41.6	70.5	70.4	73.2
産 科 周 産 期 科		27.5	28.2	25.5	14.2	15.4	13.0
小 児 科		29.0	32.5	31.7	37.9	38.8	45.2
眼 科		31.9	34.0	38.5	158.9	148.7	140.7
皮 膚 科		25.6	26.9	24.5	97.8	107.4	108.5
形 成 外 科		15.7	17.5	16.4	25.0	34.5	36.2
泌 尿 器 科		25.4	26.8	26.5	67.6	73.8	73.0
耳 鼻 咽 喉 科		35.9	36.8	37.7	101.3	108.7	111.7
神 経 精 神 科		43.5	41.9	38.1	112.6	118.3	113.1
放 射 線 科		37.6	35.6	37.1	141.7	132.5	138.9
麻 酔 科		7.7	6.4	6.2	43.7	47.4	49.5
総 合 診 療 科		1.3	0.8	1.6	20.7	19.2	18.3
歯 科 口 腔 外 科		24.7	23.8	29.6	87.4	86.5	95.1
リハビリテーション科		8.5	9.1	11.2	152.1	142.4	139.4
救急集中治療部		22.8	24.8	23.3	3.7	3.9	3.3
計		770.6	753.5	768.2	1,853.8	1,890.7	1,917.7

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区 分		平 成 17 年 度			平 成 18 年 度			平 成 19 年 度		
		入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計
患 者 検 査 人 数	単 純 撮 影	36,937	41,300	78,237	38,937	37,607	76,544	39,472	37,560	77,032
	断 層 撮 影	454	2,036	2,490			0			0
	造 影 検 査	2,259	635	2,894	2,288	639	2,927	2,394	610	3,004
	血 管 造 影	2,302	281	2,583	2,198	299	2,497	2,459	350	2,809
	乳 腺 撮 影	672	80	752	59	876	935	30	959	989
	骨 塩 検 査	331	1,018	1,349	249	985	1,234	221	929	1,150
	C T 検 査	11,156	11,882	23,038	10,955	12,050	23,005	10,574	12,544	23,118
	M R 検 査	2,123	4,860	6,983	2,188	4,722	6,910	2,262	4,905	7,167
	R I 検 査	1,732	1,647	3,379	1,652	1,485	3,137	1,714	1,476	3,190
	画 像 出 力			1,604			1,709			1,860
	放 射 線 治 療			19,505			18,310			18,336
	合 計	57,966	63,739	142,814	58,526	58,663	137,208	59,126	59,333	138,655
画 像 出 力 枚 数	半 切			31,526			4,613			1,906
	B 4			7,759			955			163
	乳 腺 用			3,139			3,321			1,984
	C D / D V D			929			1,074			1,266
	合 計			43,353			9,963			5,319

※平成17年5月よりフィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力はなくなりました。

画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っています。

情報開示、特定疾患申請などフィルムでの出力を求められたときのみ、フィルム出力となります。

これにより、フィルムの外来・入院別集計はとっておりません。

イ 検査部・機器診断部・病理部・医療材料部検査件数

区 分		平 成 17 年 度		平 成 18 年 度		平 成 19 年 度	
		件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数
	血 液 検 査	227,560	7,632,841	239,378	7,276,834	241,141	7,382,891
	緊 急 検 査	1,113,753	17,990,526	1,264,273	18,475,683	1,419,379	21,018,472
	尿 検 査	125,473	3,795,076	134,658	3,803,689	141,012	3,991,208
	輸 血 検 査	65,776	2,708,182	68,326	2,920,639	67,988	2,866,908
	細 菌 検 査	45,547	3,969,354	45,151	3,709,595	46,368	4,287,155
	生 化 学 検 査	1,603,720	36,637,438	1,497,886	32,288,638	1,416,117	31,020,346
	血 清 検 査	96,157	8,291,009	96,118	7,231,040	96,394	7,394,328
	遺 伝 子 検 査	3,422	1,673,460	2,941	1,324,830	3,716	1,513,450
	生 理 機 能 検 査					37,583	10,643,910
	検体検査管理加算料	341,129	40,921,412	363,636	43,667,860	366,346	43,864,140
	検 査 部 合 計	3,622,537	123,619,298	3,712,367	120,698,808	3,836,044	133,982,808
	機 器 診 断 部 合 計 *	39,272	16,989,951	40,375	19,689,010		
	病 理 検 査	17,887	9,886,530	18,215	10,079,470	19,702	11,178,890
	病 理 診 断 料	10,113	2,578,815	9,445	3,872,450	11,105	4,553,050
	病 理 部 合 計	28,000	12,465,345	27,660	13,951,920	30,807	15,731,940
	医 療 材 料 部 合 計					5,706	10,054,145
	総 合 計	3,689,809	153,074,594	3,780,402	154,339,738	3,872,557	159,768,893

*平成19年10月から機器診断部のうち、内視鏡を除く生理機能検査が検査部に、内視鏡検査が医療材料部に統合されました。

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数（入院）

科 別	平 成 17 年 度			平 成 18 年 度			平 成 19 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	10,606	21,738	156,810	10,058	22,108	155,803	11,407	25,005	179,257
第 二 内 科	12,260	31,725	235,694	12,780	32,848	242,770	13,947	36,691	278,563
第 三 内 科	9,633	20,495	133,147	7,813	17,401	114,168	8,621	20,190	130,133
第 四 内 科	12,299	26,869	171,076	11,251	25,028	159,128	11,294	25,333	160,707
神 経 内 科	5,530	11,950	89,077	4,742	9,752	74,623	4,925	9,613	66,559
第 一 外 科	12,045	19,943	109,263	11,830	19,102	105,418	12,435	21,498	124,721
第 二 外 科	9,329	19,897	123,486	9,626	19,752	125,763	9,851	19,623	121,222
整 形 外 科	8,036	13,172	92,997	7,780	13,738	98,436	8,150	14,097	93,967
脳 神 経 外 科	7,188	13,000	87,668	6,498	12,011	86,768	6,666	12,873	89,593
婦 人 科	10,389	14,118	76,655	9,111	11,985	64,166	10,029	13,358	70,115
産科周産期科	4,722	5,997	21,421	5,226	6,116	22,616	4,588	5,251	23,745
小 児 科	6,241	10,960	60,302	6,769	12,286	69,917	6,604	11,910	67,339
眼 科	8,266	13,673	47,963	8,616	14,759	49,483	9,868	17,419	57,353
皮 膚 科	5,505	9,817	61,034	7,560	12,784	75,684	7,386	12,982	74,133
形 成 外 科	2,299	3,458	19,777	2,703	3,959	21,335	2,610	4,114	25,107
泌 尿 器 科	5,145	7,585	43,683	6,194	9,216	50,780	5,331	7,489	41,601
耳 鼻 咽 喉 科	8,291	13,184	80,880	9,854	15,283	87,658	9,027	15,622	92,727
神 経 精 神 科	8,890	21,501	146,552	9,633	21,769	141,582	10,110	22,984	149,172
放 射 線 科	5,314	9,736	64,586	5,388	10,344	68,838	6,778	12,646	83,906
麻 酔 科	2,204	5,444	44,951	1,562	3,551	29,278	1,454	3,119	26,277
総 合 診 療 科	313	702	4,743	201	415	2,719	407	947	6,382
歯科口腔外科	5,233	7,065	33,013	4,680	6,196	21,831	5,820	7,675	31,360
リハビリテーション科	1,422	3,348	29,226	1,556	3,945	34,170	1,740	4,401	36,150
救 急 部 門	4,755	7,005	35,431	5,609	8,173	39,957	5,655	9,549	49,293
集中治療部門	157	283	1,467	1,414	2,060	10,608	2,501	4,051	17,732
計	166,072	312,665	1,970,902	168,454	314,581	1,953,499	177,204	338,440	2,097,114

(イ) 年間調剤延数（外来）

科 別	平 成 17 年 度			平 成 18 年 度			平 成 19 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	2,117	12,741	278,894	2,632	14,678	361,408	2,014	11,699	306,443
第 二 内 科	1,801	10,458	287,526	2,464	15,369	411,812	1,931	12,007	353,985
第 三 内 科	804	4,154	78,377	870	4,550	94,191	659	3,845	82,292
第 四 内 科	852	3,472	68,803	1,211	5,306	106,023	747	2,967	64,531
神 経 内 科	529	2,315	77,267	595	2,417	85,524	246	812	26,464
第 一 外 科	366	1,272	26,653	715	2,169	47,389	580	1,463	36,773
第 二 外 科	262	1,602	37,309	355	1,927	52,702	226	1,244	36,715
整 形 外 科	1,157	2,898	64,653	1,196	3,062	81,071	779	2,010	52,429
脳 神 経 外 科	700	2,182	72,423	781	2,429	84,087	632	1,983	68,199
婦 人 科	144	222	4,150	170	286	6,275	132	209	4,341
産科周産期科	174	231	1,989	310	436	3,568	51	71	442
小 児 科	364	1,019	23,918	452	1,480	32,423	303	1,057	23,855
眼 科	1,606	3,580	25,752	1,636	3,799	29,604	1,026	2,195	18,751
皮 膚 科	2,064	4,473	55,156	2,471	5,632	72,065	2,484	5,653	74,195
形 成 外 科	257	352	6,110	363	486	6,962	371	628	9,961
泌 尿 器 科	402	633	19,336	492	878	24,670	331	610	18,035
耳 鼻 咽 喉 科	579	1,166	21,209	615	1,543	27,941	417	857	17,509
神 経 精 神 科	2,084	7,960	184,093	2,584	9,964	230,524	1,940	8,203	197,923
放 射 線 科	63	123	2,919	126	364	6,043	69	193	2,786
麻 酔 科	1,543	8,574	137,606	1,876	10,388	174,286	1,528	8,512	141,226
総 合 診 療 科	147	508	9,040	107	499	8,607	36	101	1,835
歯科口腔外科	549	892	11,587	532	826	9,992	405	676	8,969
リハビリテーション科	547	2,077	41,256	742	3,047	63,687	896	3,965	79,063
救 急 部 門	61	142	971	61	136	790	31	59	297
集中治療部門									
計	19,172	73,046	1,536,997	23,356	91,671	2,021,644	17,834	71,019	1,627,019

(ウ) 年間注射処方せん延数

年度 科別	平成 17 年 度			平成 18 年 度			平成 19 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	19,429	42,812	99,097	19,564	41,527	95,044	23,333	47,915	106,180
第 二 内 科	15,719	28,190	64,788	17,349	33,568	82,369	19,853	38,082	100,577
第 三 内 科	13,435	29,653	63,065	12,553	28,210	73,635	11,143	22,863	57,754
第 四 内 科	27,899	62,047	142,855	26,407	59,154	144,109	30,420	71,025	178,780
神 経 内 科	3,363	6,420	14,178	3,463	6,252	14,618	4,286	8,033	17,451
第 一 外 科	25,885	44,623	107,923	25,245	49,841	110,300	23,646	42,999	90,391
第 二 外 科	17,221	32,056	104,040	16,936	32,926	73,410	16,813	30,994	98,366
整 形 外 科	11,380	21,483	39,617	12,007	22,516	37,297	12,680	23,548	38,646
脳 神 経 外 科	8,976	16,939	36,512	7,695	14,631	29,011	7,712	14,864	28,940
婦 人 科	9,547	23,237	44,360	9,522	22,756	44,338	9,706	23,023	48,130
産科周産期科	6,042	9,465	22,148	6,601	9,985	30,349	7,153	11,110	29,413
小 児 科	12,446	31,233	122,134	14,093	29,308	118,265	14,281	32,315	129,519
眼 科	4,763	6,885	11,527	4,630	7,279	11,483	4,945	7,505	14,277
皮 膚 科	5,557	10,162	22,567	6,659	12,534	26,124	6,088	11,354	23,192
形 成 外 科	2,544	5,296	13,434	1,977	3,718	9,651	3,185	5,636	16,177
泌 尿 器 科	7,087	14,069	30,416	9,630	20,283	38,382	9,005	19,255	39,281
耳 鼻 咽 喉 科	7,697	13,785	29,976	10,650	18,483	42,117	9,718	17,076	34,360
神 経 精 神 科	2,573	4,807	8,293	2,511	4,087	7,811	3,071	5,390	9,701
放 射 線 科	6,080	15,024	34,818	6,516	13,967	29,167	7,886	16,215	38,465
麻 酔 科	1,496	2,049	6,113	2,073	2,982	6,404	1,800	2,453	4,805
総 合 診 療 科	317	649	1,352	250	553	887	519	898	1,591
歯科口腔外科	5,876	9,593	20,836	7,023	9,770	20,319	8,064	11,718	23,068
リハビリテーション科	387	678	999	412	579	954	397	537	1,070
救 急 部 門									
集中治療部門									
計	215,719	431,155	1,041,048	223,766	444,909	1,046,044	235,704	464,808	1,130,134

(エ) 年間院外処方延数

年度 科別	平成 17 年 度			平成 18 年 度			平成 19 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
第 一 内 科	19,065	94,204	2,914,687	18,481	93,756	3,028,125	19,124	98,929	3,259,170
第 二 内 科	25,903	133,303	4,446,940	26,089	136,219	4,614,000	27,426	147,552	5,057,667
第 三 内 科	7,833	32,823	750,871	7,518	30,542	748,430	8,200	33,145	801,580
第 四 内 科	13,127	52,879	1,331,746	12,964	53,664	1,422,969	13,618	57,880	1,569,824
神 経 内 科	8,723	36,822	1,241,933	7,888	32,305	1,138,243	7,680	30,377	1,089,149
第 一 外 科	6,079	14,879	501,096	5,980	14,671	521,544	5,800	14,895	549,781
第 二 外 科	2,008	11,117	330,596	1,717	9,308	293,458	1,674	8,669	268,392
整 形 外 科	9,985	22,240	608,471	9,723	21,257	610,333	10,777	23,176	683,641
脳 神 経 外 科	3,970	11,766	455,128	3,831	11,247	460,392	4,320	12,565	541,805
婦 人 科	4,833	9,185	251,658	4,581	8,892	246,785	4,581	8,729	251,501
産科周産期科	820	1,141	11,648	912	1,265	12,971	1,122	1,532	16,795
小 児 科	4,563	11,719	351,470	4,660	12,124	352,100	5,967	15,390	416,156
眼 科	17,259	34,809	366,371	14,801	28,868	300,421	14,674	28,905	289,302
皮 膚 科	14,355	38,591	540,980	13,880	37,255	539,238	13,544	37,283	565,170
形 成 外 科	1,203	1,855	33,102	1,265	1,867	23,545	1,187	1,690	21,708
泌 尿 器 科	5,006	7,858	251,813	5,380	8,745	269,612	5,374	8,569	294,590
耳 鼻 咽 喉 科	11,625	24,844	605,227	11,169	24,061	595,538	11,713	25,690	646,978
神 経 精 神 科	20,716	79,781	1,679,512	19,757	74,520	1,658,354	19,895	74,084	1,730,337
放 射 線 科	1,564	3,557	99,744	1,526	3,595	104,411	1,173	3,144	73,511
麻 酔 科	2,453	10,883	203,701	2,401	11,168	217,215	2,762	12,724	251,422
総 合 診 療 科	3,871	13,728	292,441	3,611	13,698	308,045	3,587	14,220	335,587
歯科口腔外科	4,285	6,536	92,944	4,570	7,008	81,860	4,639	6,837	95,005
リハビリテーション科	2,308	8,373	145,596	2,425	8,760	165,168	2,566	9,373	187,646
救 急 部 門	45	152	3,623	79	262	4,937	47	153	2,454
集中治療部門									
計	191,599	663,045	17,511,298	185,208	645,057	17,717,694	191,450	675,511	18,999,171

エ 手術部手術件数

(単位：件)

年 度 科 別	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度
第 一 内 科	12	16	13
第 二 内 科	10	5	3
第 三 内 科	—	—	—
第 四 内 科	9	7	6
神 経 内 科	7	11	5
第 一 外 科	571	575	561
第 二 外 科	463	481	560
整 形 外 科	800	715	763
脳 神 経 外 科	302	276	296
婦人科・産科周産期科	591	641	640
小 児 科	5	5	4
眼 科	876	1,090	1,380
皮 膚 科	394	389	305
形 成 外 科	394	475	539
泌 尿 器 科	461	439	459
耳 鼻 咽 喉 科	504	570	498
神 経 精 神 科	183	108	121
放 射 線 科	—	—	—
麻 酔 科	17	91	78
総 合 診 療 科	—	—	—
歯 科 口 腔 外 科	536	530	532
リハビリテーション科	—	—	—
救 急 集 中 治 療 部	216	240	191
合 計	6,351	6,664	6,954

*形成外科の他科手術分含む。

(5) 分娩件数

区 分	平 成 17 年 度	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度
件 数	272	291	286

(6) 定床別等級別病床数

科 名 区 分	第 一 科	第 二 科	第 三 科	第 四 科	第 一 科	第 二 科	整 形 科	脳 神 經 科	神 經 科	婦 科 人 科	産 科 周 産 期 科	小 児 科	眼 科	皮 膚 科	形 成 外 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科	放 射 線 科	歯 科 口 腔 外 科	総 合 診 療 科	麻 酔 科	神 経 内 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	救 急 集 中 治 療 部						合 計																					
	内 科	内 科	内 科	内 科	外 科	外 科	外 科	外 科	内 科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	救 急 (救 命 救 急 セ ン タ ー)	う ち I C U	I C U	C C U	ク リ ー ン ・ ル ー ム	小 計	計																					
	所在階	10	11	11	10	5	5	8	8	6	6	7	7	9	4	9	4	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																			
室 数	15	12	14	15	14	14	14	14	14	14	9	13	12	15	14	15	14	21	13	11	5	5	5	5	(1)	1	2	2	2	10	273																					
床 数	51	52	51	52	51	44	51	38	5	49	37	41	50	30	20	42	50	42	48	37	5	10	19	11	36	(6)	10	3	3	52	938																					
特 等	室 数				1		1			1																						3																				
	床 数				1		1			1																						3																				
一 等	室 数	2	2		1		2	2			1		3	1	2	1		2	2	2												21																				
	床 数	2	2		1		2	2			1		3	1	2	1		3	2	2												22																				
一 般	室 数	13	10	14	13	14	11	12	14	13	8	13	9	14	12	14	14	19	11	11	11	5	(1)	1	2	2	2	10	249																							
	床 数	49	50	51	50	51	41	49	43	48	36	41	47	49	40	49	42	45	40	40	40	36	(6)	10	3	3	3	52	913																							
1 床室	4	2	4	6	3	3	5	3	4	1	5	3	4	3	5	4	9	4	4	5	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	74																					
2 床室	4	2	1	2	3	4	2	5	3	3	1	1	5	5	3	4	7	2	5	2	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	64																					
3 床室	1		3		2				1			1				1				1											9																					
4 床室		1				2						1				1				1											6																					
5 床室						5		6			6	6				5	6	5	6	6	6	6	6	1					1	1	46																					
6 床室	6	7	6	7	6		7		6	5		7	6											2					2	1	71																					
8 床室																								1					1	1	1																					
10 床室																											1		1	1	1																					
11 床室																									1	(1)				1	1	1																				
備 考	(平成20年4月1日現在)																																																			
	※ 救急集中治療部には人工透析室（6床）が設置されている。																																																			
各 階 別 室 ・ 床 数																																																				
<table><tr><td>階</td><td>室 数</td><td>床 数</td></tr><tr><td>1</td><td>21</td><td>48</td></tr><tr><td>2</td><td>13</td><td>42</td></tr><tr><td>3</td><td>21</td><td>92</td></tr><tr><td>4</td><td>28</td><td>84</td></tr><tr><td>5</td><td>28</td><td>95</td></tr><tr><td>6</td><td>23</td><td>86</td></tr></table>																																階	室 数	床 数	1	21	48	2	13	42	3	21	92	4	28	84	5	28	95	6	23	86
階	室 数	床 数																																																		
1	21	48																																																		
2	13	42																																																		
3	21	92																																																		
4	28	84																																																		
5	28	95																																																		
6	23	86																																																		
<table><tr><td>階</td><td>室 数</td><td>床 数</td></tr><tr><td>7</td><td>25</td><td>91</td></tr><tr><td>8</td><td>28</td><td>94</td></tr><tr><td>9</td><td>30</td><td>100</td></tr><tr><td>10</td><td>30</td><td>103</td></tr><tr><td>11</td><td>26</td><td>103</td></tr><tr><td>計</td><td>273</td><td>938</td></tr></table>																																階	室 数	床 数	7	25	91	8	28	94	9	30	100	10	30	103	11	26	103	計	273	938
階	室 数	床 数																																																		
7	25	91																																																		
8	28	94																																																		
9	30	100																																																		
10	30	103																																																		
11	26	103																																																		
計	273	938																																																		
等 級 別 室 料 差 額 料 金																																																				
<table><tr><td>等 級</td><td>料 金</td></tr><tr><td>特 等</td><td>10,500円</td></tr><tr><td>一 等</td><td>5,250円</td></tr></table>																																等 級	料 金	特 等	10,500円	一 等	5,250円															
等 級	料 金																																																			
特 等	10,500円																																																			
一 等	5,250円																																																			

(7) 病理解剖件数

(単位：体)

科 別	年 度	平 成 17 年 度			平 成 18 年 度			平 成 19 年 度		
	性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科		2		2	4	4	8	3	3	6
第 二 内 科		4	1	5	3		3	2	1	3
第 三 内 科		4	2	6	2	3	5	6	1	7
第 四 内 科		7	3	10		1	1	1	2	3
神 経 内 科		1		1	1		1	2		2
第 一 外 科		1	1	2	2		2	2	1	3
第 二 外 科		3		3		1	1	2		2
整 形 外 科					4		4			
脳 神 経 外 科		2	1	3				1		1
婦 人 科										
産 科 周 産 期 科									1	1
小 児 科		1		1	1		1			
眼 科										
皮 膚 科		1		1	1		1		1	1
形 成 外 科										
泌 尿 器 科		3	1	4		1	1	2		2
耳 鼻 咽 喉 科		1	1	2						
神 経 精 神 科										
放 射 線 科										
麻 酔 科										
総 合 診 療 科								1		1
歯 科 口 腔 外 科		2		2					1	1
リハビリテーション科										
救 急 集 中 治 療 部		2	1	3	2	2	4	4	2	6
院 外		3		3	1	2	3	2	2	4
計		37	11	48	21	14	35	28	15	43

(8) 医療相談状況（平成19年度）

ア 各科別件数

（単位：件）

区分	科名	第一内科	第二内科	第三内科	第四内科	神経内科	第一外科	第二外科	整形外科	脳神経外科	婦人科	産科周産期科	小児科	眼科	皮膚科	形成外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経精神科	放射線科	麻酔科	総合診療科	歯科口腔外科	リハビリテーション部	救急集中治療部	その他	合計
入院	新規	96	152	93	91	89	102	95	215	111	136	106	96	244	55	77	75	146	68	49	18	3	113	31	226	8	2,495
	継続	272	340	115	220	335	203	194	371	252	202	251	541	189	103	188	225	259	237	75	33	3	103	76	200	2	4,989
	計	368	492	208	311	424	305	289	586	363	338	357	637	433	158	265	300	405	305	124	51	6	216	107	426	10	7,484
外来	新規	80	38	36	37	63	17	15	103	31	40	28	24	136	15	12	24	48	69	18	10	8	28	13	7	19	919
	継続	317	173	85	269	276	201	74	198	106	74	108	185	172	68	23	55	113	295	48	30	12	55	153	14	3	3,107
	計	397	211	121	306	339	218	89	301	137	114	136	209	308	83	35	79	161	364	66	40	20	83	166	21	22	4,026
合計		765	703	329	617	763	523	378	887	500	452	493	846	741	241	300	379	566	669	190	91	26	299	273	447	32	11,510
備考		新規継続計		3,414件 8,096件 11,510件		30% 70% (100.0%)																					

イ 相談内容別件数

（単位：件）

相談内容		件数（延べ）	構成比（％）	備考
小児医療関係	育成医療	903	3.9%	
	小児慢性特定疾患	424	1.8%	
	養育医療・その他	185	0.8%	
医療費支払援助		4,084	17.5%	
生活保護法関係		760	3.3%	
障害福祉関係		1,121	4.8%	
老人福祉関係		163	0.7%	
介護保健関係		428	1.8%	
特定疾患医療		942	4.0%	
労働災害関係		135	0.6%	
健康保険関係		2,668	11.4%	
年金・手当関係		766	3.3%	
家族問題		669	2.9%	
就職・社会復帰		314	1.3%	
退院・転院援助		958	4.1%	
院内連絡調整		2,990	12.8%	
院外連絡調整		2,220	9.5%	
受診援助・指導		944	4.0%	
その他		2,017	8.6%	
心理判定・カウンセリング		669	2.9%	
計		23,360	100.0%	

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位：円、%)

年度 区分	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成17年度	14,291,950,398	3,059,726,379	17,351,676,777	82.4	17.6	100.0
平成18年度	14,365,539,990	3,144,109,186	17,509,649,176	82.0	18.0	100.0
平成19年度	15,296,142,853	3,171,372,806	18,467,515,659	82.8	17.2	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位：円)

行為	年度		平成17年度	平成18年度	平成19年度
	入院	外来			
初診料	入院 外来		11,005,455 75,873,944	8,701,714 57,927,168	7,611,132 57,622,616
再診料	外来		247,795,615	230,465,328	227,892,776
医学管理料等・在宅医療	入院 外来		81,252,917 245,632,180	55,462,222 221,259,598	57,337,194 237,049,766
検査料	入院 外来		235,618,512 830,481,391	224,530,168 835,633,988	259,816,697 874,610,361
画像診断料	入院 外来		118,072,115 501,734,901	108,475,552 538,588,175	131,511,669 572,699,171
投薬料	入院 外来		177,688,926 242,244,762	158,349,302 316,787,141	201,440,772 259,812,564
注射料	入院 外来		533,038,410 369,259,192	364,869,798 401,551,150	524,957,064 421,991,338
処置料	入院 外来		150,495,478 30,098,739	151,819,184 32,799,392	198,675,014 34,857,550
手術・麻酔	入院 外来		3,745,734,543 96,542,048	3,996,944,461 109,879,732	4,385,359,377 103,745,827
その他	入院 外来		291,338,556 420,063,607	285,397,579 399,217,514	336,738,913 381,090,837
入院料（出来高部分）	入院		1,802,952,671	1,791,889,116	1,983,499,699
入院料（DPC部分）	入院		6,601,053,874	6,753,036,870	6,722,955,680
室料差額	入院		38,395,001	37,285,500	40,430,250
食事	入院		505,303,940	428,778,524	445,809,392
計	入院 外来		14,291,950,398 3,059,726,379	14,365,539,990 3,144,109,186	15,296,142,853 3,171,372,806

4 医学部附属がん研究所

(1) 沿革

昭和28年4月	がん研究所が設置され研究を開始
昭和30年7月	附属病院内にがん相談所を設置
昭和30年9月1日	札幌医科大学附属がん研究所設置
昭和35年10月	病理学部門、内科学部門を設置
昭和44年4月1日	分子生物学部門を設置
昭和52年8月	札幌医科大学附属がん研究所新築
昭和56年4月1日	生化学部門を設置、内科学部門を廃止
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属がん研究所に名称変更
平成14年4月1日	病理学部門を分子病理病態学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

昭和30年11月1日	—	昭和36年3月31日	中 川 諭
昭和36年4月1日	—	昭和40年3月31日	新 保 幸太郎
昭和40年4月1日	—	昭和41年3月31日	(所長事務代理) 小野江 為 則
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	塚 田 英 之
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	漆 崎 一 朗
昭和49年4月1日	—	昭和53年3月31日	藤 永 蕙
昭和53年4月1日	—	昭和57年3月31日	塚 田 英 之
昭和57年4月1日	—	昭和61年3月31日	藤 永 蕙
昭和61年4月1日	—	昭和63年3月31日	塚 田 英 之
昭和63年4月1日	—	平成4年3月31日	藤 永 蕙
平成4年4月1日	—	平成6年3月31日	望 月 洋 一
平成6年4月1日	—	平成9年3月31日	藤 永 蕙
平成9年4月1日	—	平成12年3月31日	望 月 洋 一
平成12年4月1日	—	平成16年3月31日	佐々木 輝 捷
平成16年4月1日	—	平成20年3月31日	時 野 隆 至
平成20年4月1日	—	現 在	(所長事務取扱) 當 瀬 規 嗣

(3) 組織

研究所に生化学、分子生物学、分子病理病態学の3部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成20年10月1日現在)

部 門	教 授	准教授	講 師	助 教	衛生検 査技師	臨床検 査技師	研 究 補助員	計
生 化 学		1	1				1	3
分 子 生 物 学	1	1		2	1			5
分子病理病態学	1			2		1		4
合 計	2	2	1	4	1	1	1	12

(4) 研究計画の概要

ア 生化学部門

- (ア) 神経発生過程における分子メカニズムの解析
- (イ) 神経疾患に関する基礎的研究
- (ウ) スフィンゴ脂質とその結合タンパク質に関する研究
- (エ) がん細胞の増殖・運動とカルシウムシグナリング

イ 分子生物学部門

- (ア) ヒト癌の発生機序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の機能の解明
- (ウ) 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析
- (エ) 癌の遺伝子治療の基礎研究
- (オ) 癌における後成的遺伝子修飾の解析

ウ 分子病理病態学部門

- (ア) 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝組織の再構築に関する研究
- (イ) 肝幹（前駆）細胞の増殖と分化に関する研究
- (ウ) 細胞接着に関する研究
- (エ) 細胞外基質と疾患に関する研究
- (オ) 人工肝臓の基礎的研究

5 医学部附属臨海医学研究所

(1) 沿革

昭和43年2月26日	附属臨海医学研究所設置委員会設置
昭和43年5月2日	附属臨海医学研究所運営委員会設置
昭和43年9月1日	札幌医科大学附属臨海医学研究所設置
昭和53年7月25日	研究所開所10周年記念式典挙行
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属臨海医学研究所に名称変更
平成5年11月1日	研究所開所25周年記念式典挙行
平成11年5月10日	札幌医科大学内に臨海医学研究所札幌研究室を設置

(2) 歴代研究所長

昭和43年9月1日	—	昭和45年2月1日	新 保 幸太郎
昭和45年2月1日	—	昭和51年3月31日	渡 邊 左武郎
昭和51年4月1日	—	昭和55年2月8日	(所長事務取扱) 渡 邊 左武郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年6月30日	(”) 和 田 武 雄
昭和55年7月1日	—	昭和57年3月31日	小野江 為 則

昭和57年4月1日	－	昭和61年2月8日	菊地浩吉
昭和61年2月9日	－	昭和61年2月28日	(所長事務取扱) 菊地浩吉
昭和61年3月1日	－	平成2年2月28日	高橋杏三
平成2年3月1日	－	平成5年3月31日	三宅浩次
平成5年4月1日	－	平成8年2月29日	秋野豊明
平成8年3月1日	－	平成12年2月29日	森道夫
平成12年3月1日	－	平成16年2月29日	神保孝一
平成16年3月1日	－	平成18年2月28日	佐藤昇志
平成18年3月1日	－	現 在	當瀬規嗣

(3) 組 織

(平成20年10月1日現在)

部 門 \ 職 種	教 授	准教授	計
所 長	1 ※		1
基 礎 医 学 部 門		1	1
計	1	1	2

※ 兼務

(4) 研究計画の概要

- ア 海洋生物由来抗腫瘍物質（腫瘍血管新生阻害作用）に関する研究
- イ 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析
- ウ 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索
- エ 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究

6 医学部教育研究機器センター

(1) 沿 革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年4月1日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年4月1日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年6月	分子機能解析部門に教員を配置

(2) 歴代施設部長及びセンター所長

昭和44年4月1日	—	昭和45年3月31日	小野江 為 則
昭和45年4月1日	—	昭和46年8月31日	永 井 寅 男
昭和46年9月1日	—	昭和50年3月31日	田 中 護
昭和50年4月1日	—	昭和54年3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年4月1日	—	昭和58年3月31日	林 喬 義
昭和58年4月1日	—	昭和61年3月31日	藪 英 世
昭和61年4月1日	—	平成2年3月31日	秋 野 豊 明
平成2年4月1日	—	平成6年3月31日	森 道 夫
平成6年4月1日	—	平成10年3月31日	加 納 英 雄
平成10年4月1日	—	平成12年3月31日	浦 澤 正 三
平成12年4月1日	—	平成16年3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年4月1日	—	平成20年3月31日	藤 井 暢 弘
平成20年4月1日	—	現 在	山 下 敏 彦

(3) 組 織

センターは分子医学研究部門、分子機能解析部門、ラジオアイソトープ研究部門の3部門からなり、構成員は以下のとおりである。

(平成20年10月1日現在)

部 門	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	主 査	臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技能員	研 究 補助員	計
分子医学研究部門	1	1	1	1	1					2		7
分子機能解析部門	1			1		1	2		1		1	7
R I 研究部門	1※					1		3			1	6
合 計	3	1	1	2	1	2	2	3	1	2	2	20

※ 兼務

(4) 研究計画の概要

ア 分子医学研究部門

- (ア) 遺伝子治療のための基礎技術の開発
- (イ) がんに対する遺伝子治療法の開発
- (ウ) 難治疾患に対する再生医療・遺伝子治療
- (エ) 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用

イ 分子機能解析部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) ヒト介在試験フィールドの構築
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

7 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）
平成20年1月	札幌医科大学動物実験規程施行

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日	—	昭和59年3月31日	浦 澤 正 三
昭和59年4月1日	—	昭和63年3月31日	森 道 夫
昭和63年4月1日	—	平成4年3月31日	藪 英 世
平成4年4月1日	—	平成8年3月31日	大 鹿 英 世
平成8年4月1日	—	平成10年3月31日	新 津 洋司郎
平成10年4月1日	—	平成14年3月31日	今 井 浩 三
平成14年4月1日	—	平成17年3月31日	青 木 藩
平成17年4月1日	—	平成19年3月31日	加 納 英 雄
平成19年4月1日	—	現 在	澤 田 典 均

(3) 組織

（平成20年10月1日現在）

教 授	准教授	獣医師	動物飼育員	業務委託・派遣	計
1 ※	1	1	3	5	11

※ 兼務

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
動物実験施設管理運営委員会
感染防止委員会実験動物部会
札幌医科大学動物実験規程

(5) 事業の概要（平成19年度）

ア 公開セミナー

第19回：特異的標的化を目指した遺伝子治療法の開発

講師：濱田 洋文 教授（札幌医科大学医学部教育研究機器センター分子医学研究部門）

第20回：C. botulinum と H.pylori に関する研究

講師：小熊 恵二 教授（岡山大学大学院医歯学総合研究科）

イ 施設利用者数

延べ 11,214名

ウ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	延べ飼育数	受入頭数
ラット	491,486	6,551
マウス	735,738	5,237
遺伝子改変マウス	157,795	●
モルモット	13,147	106
ウサギ	9,524	78
イヌ	326	0
ネコ	19,398	●
ブタ	700	19
サル	1,782	0
ハムスター	15,129	64

●：自家繁殖

エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ
受入頭数	6,551	5,237	106	78	19
発病頭数					
死亡頭数		1	1		
剖検検査頭数		1	1		
抗体検査頭数	184	88			
培養検査頭数			4	1	

8 附属総合情報センター

(1) 沿革

平成18年4月 附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。
情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。

(2) センター所長

平成18年4月1日 現在 佐藤 昇 志

(3) 組織

(平成20年10月1日現在)

区分	教員	事務職員	司書	計
所長	1 ※			1
副所長	1	1		2
企画開発室	1			1
主任司書			1	1
総務・システムグループ		2	3	5
図書グループ			7	7
計	3	3	11	17

※ 兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境を整備し、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (WindowsXPサーバ55台) 等 保健医療学部教育用機器 (WindowsXPサーバ69台) 等	基礎医学研究棟 5 階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟 1 階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、データ解析・統計処理システム、統計処理システム、情報可視化・テキストマイニングツール、蛋白質同定システム、NRIサイバーパテントデスク、e-Learnigシステム 等	情報研究室 他

ウ 地域医療支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっている。本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。	遠隔画像診断支援システム、TV会議システム、多地点マルチメディアTV会議システム、病理画像診断サーバシステム 等	臨床教育研究棟 3 階 臨床第二会議室 他

エ 学内情報ネットワークシステム (SAINS)

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
情報センターが整備する上記 3 システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク (SINET) と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、侵入検知システム(IDS)、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアーウォール、ウィルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等	基礎医学研究棟 5 階 コンピュータ (サーバ) 室

(図書館部門)

ア 組織・施設概要

項 目	内 容
延面積	4,230 m ²
閲覧席	281 席
(情報コンセント)	126 個
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
A V (視聴覚) 端末	12 台
有料セルフコピー (コイン式)	3 台
有料プリンター (コイン式)	4 台

イ 蔵書

(平成20年 3 月31日現在)

項 目	冊 数
蔵 書	93,105 冊
製 本 雑 誌	119,623 冊
計	212,728 冊

ウ 入館者数内訳（平成19年度）

（単位：人）

	開館日数	学 内 者				学内者計	学 外 者	合 計
		教 職 員	学部学生	大学院生	研究生等			
全 体	359 日	12,694	128,806	4,511	9,931	155,942	11,983	167,925
うち特別 開館時間帯	359 日	1,015	19,447	520	962	21,994	1,309	23,253

※ 特別開館時間は、平日20時15分～翌日9時及び土、日、祝日9時～翌日9時

エ 利用概要（平成19年度）

項 目	利 用 数
館 外 貸 出	19,215 冊
相互利用（受付）	6,881 件
相互利用（依頼）	4,032 件

オ 特徴的な業務

- (ア) 24時間開館の実施
- (イ) 閲覧席に、持参のノートパソコンからインターネットへの接続環境を提供
- (ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供
 - a 米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用
 - b 国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用
- (エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

9 附属産学・地域連携センター

(1) 沿 革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足
 平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

(2) 歴代センター所長

平成19年4月1日－平成19年3月31日 濱 田 洋 文
 平成20年4月1日－現 在 三 高 俊 広

(3) 組 織

（平成20年10月1日現在）

所 長	副所長	参 事	事務職員	客員研究員	産学官連携 コーディネーター	計
1 ※1	2 ※2	1 ※1	3	1	1	8

※1 兼務 ※2 うち1名兼務

(4) 業務概要

ア 研究支援

- 科学研究費補助金等
 文部科学省科学研究費補助金をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等

○ 共同研究・受託研究

本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付、あっせん、契約、経理等

イ 教育支援

○ 知財教育プログラム

医療研究者、地域医療従事者を支援するための知的財産教育プログラムの実施

○ 知的財産関係図書

知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

ウ 知的財産の管理活用

○ 相談受付

研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付

○ 知的財産管理

発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、特許をめぐるトラブルの処理等

○ リエゾン（知財を核とした技術移転）

本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費補助金

(単位：千円)

種 目	平成18年度							平成19年度						
	新規応募		交付内定					新規応募		交付内定				
			(新規)			交付合計				(新規)			交付合計	
	件数	金額	件数	金額	採択率	件数	金額	件数	金額	件数	金額	採択率	件数	金額
特定領域研究	32	194,205	5	20,600	15.6%	12	111,700	7	30,000	1	4,200	14.3%	12	112,800
基盤研究(S)	0	0	0	0	－	1	16,900	1	39,000	0	0	0%	1	16,800
基盤研究(A)	1	15,060	0	0	0.0%	2	15,400	2	59,000	0	0	0.0%	0	0
基盤研究(B)	39	319,345	11	80,400	28.2%	25	131,500	30	256,626	12	81,200	40.0%	30	156,900
基盤研究(C)	118	295,752	26	51,000	22.0%	64	96,500	122	308,719	30	57,000	24.6%	58	93,000
萌芽研究	36	95,572	5	9,700	13.9%	13	19,500	65	152,211	9	14,600	13.8%	14	20,300
若手研究(A)	0	0	0	0	－	1	7,600	2	24,154	0	0	0%	1	7,600
若手研究(B)	58	136,823	17	28,300	29.3%	29	44,600	81	188,144	22	35,900	27.2%	39	44,600
特別研究員奨励費	0	0	0	0	－	3	3,300	0	0	0	0	－	2	2,200
奨励研究	0	0	0	0	－	0	0	2	1,420	2	1,420	100%	2	1,420
合 計	284	1,056,757	64	190,000	22.5%	150	447,000	312	1,059,274	76	194,320	24.4%	159	455,620

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区 分	平成 17 年 度		平成 18 年 度		平成 19 年 度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
国等受託研究	16	116,572	17	49,348	31	266,199
一般受託研究	39	55,438	38	58,013	40	35,334
合 計	55	172,010	55	107,361	71	301,533

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
出 願	18	19	13	19	18	23
取 得	3	0	2	0	0	1

※ 発明等の管理は、平成16年度までは教員個人が行い、平成17年度からは大学が行っている。

※ 平成17年度は移行期であるため、教員個人管理の出願 8 件を含む。

10 緩和医療学講座

(1) 沿 革

平成20年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズの協力により寄附講座として緩和医療学講座が発足

(2) 所 属 長

平成20年 4 月 1 日 一 現 在 並 木 昭 義

(3) 組 織

(平成20年10月 1 日現在)

教 授	講 師	特任助教	事務職員	計
1 ※	1 ※	3	1	6

※ 兼務

(4) 研究計画の概要

緩和医療学講座の 5 年間における研究及び活動計画は以下の内容について実施し、その結果を公表する。

1. 実態調査

- 1) 患者、家族の緩和医療、ケアに求めるもの
- 2) 各職種医療者の緩和医療学及び体制に関する認識
- 3) 医学生、看護学生の緩和医療、ケアに関する認識

2. 研究課題

- 1) 難治性がん疼痛患者の対応
- 2) がん疼痛機序の研究
- 3) 化学療法による末梢神経障害機序の研究

- 4) がん化学療法の適正な使用法と副作用対策
 - 5) 医療者のコミュニケーション能力の向上
 - 6) がん患者、家族及び遺族の苦悩の対応
 - 7) 地域医療との連携
3. 啓発活動
- 1) 医学生、看護学生、その他学生の講義と実習指導
 - 2) 医療者の講義と実施教育
 - 3) 医療者向け講演会と市民講座の開催
- 各年度の活動、実績を基に次年度の具体的な研究、活動方針の企画及び5年間の目標達成を検討する。

11 分子標的探索講座

(1) 沿革

平成20年5月1日 日東電工株式会社の寄附により、分子標的探索講座を設立

(2) 所属長

平成20年5月1日 ー 現 在 新 津 洋司郎

(3) 組織

(平成20年10月1日現在)

特任教授	特任助教	博士研究員	研究支援者	事務職員	計
1	1	1	1	1	5

(4) 研究計画の概要

- ① まず、p53のがん抑制因子としての活性が、TGF β の作用に絶対的に依存していることを、in vitro、in vivoの系で証明し、次いで様々ながん腫におけるこのシグナルの異常を解析した上で、それによって低下したがん抑制活性を高める為の様々な治療戦略を開発する。
- ② 細胞の運動シグナルのマスター分子であるpkczetaの阻害分子を探索し、転移モデル、炎症モデルで有用性を検証する。
- ③ がん随伴する線維芽細胞（がん細胞に様々な成長因子を与えている）に特異的に発現している受容体を介して、抗癌剤を取り込ませ死滅させるという、新しい概念の癌間質抑制療法を開発する。
- ④ 大腸がんの初期発生過程にGSTpi/Raf/ERKシグナルが関与していることを、in vitro、in vivoの系で証明し、GSTpi阻害剤の化学予防薬としての有用性を検証する。
- ⑤ 肝組織再生時の星細胞の役割（幹細胞との相互作用）を明らかにし、他の組織においてもそのアナロジーが成り立つか否かを検証する。それと同時に星細胞におけるVA受容体の同定を行いその役割についても調べる。
- ⑥ 組織再生戦略として、線維化組織や異常な血行を再構築した上で、組織幹細胞を活性化させる、または多機能幹細胞（ips、ES、骨髄間葉系幹細胞）を外から導入するという構想を具体化する。

12 神 経 再 生 医 学 講 座

(1) 沿 革

- 平成19年 8 月 1 日 文部科学省「橋渡し研究支援推進プログラム、オール北海道先進医学・医療拠点形成プロジェクト」が発足
- 平成19年 9 月27日 北海道臨床開発機構が発足
- 平成20年 5 月 1 日 新たな大学附属機関として、神経再生医学講座が発足

(2) 所 属 長

平成20年 5 月 1 日 一 現 在 本 望 修

(3) 組 織

(平成20年10月 1 日現在)

特任教授	研究支援者	計
1	2	3

(4) 研究計画の概要

【基礎研究】

- * 治療メカニズムの解明
 - ① 動物実験の継続
 - ② 臨床データの詳細な解析
- * 治療プロトコルの最適化、治療効果の向上
 - ① 動物実験の継続
 - ② 臨床研究への応用
- * 適応疾患の拡大
 - ① 他科との連携 ⇒ 学内横断的な協力体制
 - ② 基礎研究から臨床研究へ
- * 新たなドナー細胞の検索
 - ① 骨髄幹細胞から誘導した神経幹細胞
 - ② 末梢血由来の幹細胞

【臨床研究推進】

- * 骨髄幹細胞による脳梗塞治療の推進 (臨床研究体制の整備)
 - ① 幹細胞治療に特化した、新たな治療・評価体制の確立
 - ② 高度医療、先進医療、医師主導の治験、への移行
多施設共同研究 (他大学、道内病院との連携)
 - ③ 体制の強化

【実用化推進】

- * 臨床に使用できる幹細胞の調製・提供体制の整備
 - ① 細胞調整施設 (Cell Processing Center) の整備
 - ② 標準手順書の整備・改良 (GLP、GMP基準)
 - ③ 検査体制の確立

【実用化研究開発】

- * 実用化面での効率化・改良を推進
 - ① 採取方法、培養の効率化
 - ② 搬送方法の確立
 - ③ 細胞培養の自動化

13 平成20年度収入支出予算

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
<u>運営費交付金</u>	<u>7,410,000</u>	<u>業務費</u>	<u>27,341,023</u>
運 営 費 交 付 金	7,410,000	教 育 研 究 経 費	1,117,545
		医 療 材 料 費	6,500,000
<u>学生納付金</u>	<u>908,900</u>	診 療 経 費	2,348,100
学 生 納 付 金	908,900	管 理 経 費	3,457,378
		人 件 費	13,918,000
<u>附属病院収入</u>	<u>18,400,000</u>	<u>財務費用</u>	<u>8,000</u>
診 療 収 入	18,400,000	支 払 利 息	8,000
<u>雑収入</u>	<u>630,123</u>		
負 担 金 及 び 補 助 金	239,202		
科学技術研究費等間接経費	141,867		
そ の 他 雑 収 入	249,054		
<u>受託収入</u>	<u>445,017</u>	<u>受託経費</u>	<u>445,017</u>
受 託 収 入	445,017	受 託 経 費	445,017
<u>寄附金収入</u>	<u>400,000</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>400,000</u>
寄 附 金	400,000	寄 附 金 事 業 費	400,000
<u>道費補助金</u>	<u>541,000</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,061,000</u>
施 設 整 備 費 補 助 金	541,000	施 設 整 備 費	541,000
		機 器 整 備 費	520,000
<u>道費借入金</u>	<u>520,000</u>		
医 療 機 器 整 備 費 借 入 金	520,000		
計	29,255,040	計	29,255,040

14 校舎等建物面積

(平成20年4月30日現在 単位：㎡)

建物別 用途別		計	大 学 校 舎								RI室・がん 研 究 所	臨海医学 研 究 所
			東 棟	本 部 棟	教育北棟	教育南棟	保健医療 学 部 棟	臨床教育 研 究 棟	基礎医学 研 究 棟	更 衣 室		
校	講義室・演習室	3,775	1,059	358	360	920	816	262				
	実験室・実習室	8,331			1,551	510	2,926	2,039	1,305			
	研 究 室	4,484	641	153			1,241	1,313	1,136			
	講 座 関 係	3,727	199					2,578	950			
	標 本 館	407	37						370			
	図 書 館	4,230							4,230			
	RI研究センター	1,262									1,262	
	動物実験施設	2,080	1,691	389								
	講 堂	461						461				
	管理関係その他	29,946	4,312	1,025	637	311	2,655	8,137	12,694	175		
	小 計	58,703	7,939	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,685	175	1,262	
研 究 所	が ん 研 究 所	1,617									1,617	
	臨 海 研 究 所	199										199
	小 計	1,816									1,617	199
計		60,519	7,939	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,685	175	2,879	199

建物別 用途別		計	附 属 病 院		体 育 館	弓 道 場	附 属 建 物 ド ウ ン 	学 生 寮	保 育 所	看 護 師 宿 舎	セ ン タ ー	国 際 医 学 交 流	教 育 実 習 棟	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	交 流 会 館	フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	記 念 ホ ー ル	白 井 小 屋	そ の 他
			棟 中 央 病 棟	診 外 療 棟 来															
附 属 病 院	病 棟 関 係	24,635	22,253	2,382															
	外 来 関 係	8,632	901	7,731															
	中 央 部 門	11,373	10,257	1,116															
	管理関係その他	20,450	17,351	3,099															
	小 計	65,090	50,762	14,328															
体 育 施 設		1,741			1,440	139	162												
学 生 寮		1,190						1,190											
保 育 所		486							486										
看 護 師 宿 舎		2,847								2,847									
国際医学交流センター		618									618								
リハビリテーション教育実習棟		778											778						
交 流 会 館		1,907													1,907				
フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス		552														552			
記 念 ホ ー ル		738															738		
そ の 他		165																72	93
計		76,112	50,762	14,328	1,440	139	162	1,190	486	2,847	618	778	1,907	552	738		72		93

総計 136,631

平成20年度 札幌医科大学要覧

平成20年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学
事務局企画管理部経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線 2164

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp/>
